

2024(令和6年度版)

消防年報



周南市消防本部

ま え が き

この年報は、周南市の消防現勢及び消防業務に関する諸般の事情を収録し、将来の参考に資するとともに消防事情を広く紹介するために編さんしたものです。

なお、令和6年4月1日現在をもって作成したものでありますが、一部統計等については当該表に表示しました。





【表紙説明】

「屈折はしご車 MSC25」

令和5年9月26日、周南市西消防署のはしご車が更新となり、MSC25屈折はしご車が導入されました。

本車両は、アウトリガーを伸梯側の片側のみ使用する「ワンサイドモード」を装備しており、建物や他の車両等、障害物のある現場でも最小限のスペースで消火・救助活動が行えます。

また、屈折ブームは地表約マイナス6mまで下降が可能なことも特長で、橋脚から河川、堤防から海面などの水難救助や崖下救助などに能力を発揮します。

規格：全長900cm、全幅249cm、全高365cm、最大地上高25m、最大作業半径16m



令和6年 周南市消防運営基本方針

服 務 信 条

信 頼 さ れ る 消 防 の 確 立

基 本 方 針

- ※ 活力ある職場づくりと効率的業務の推進
- ※ 消防体制の充実強化
- ※ 火災予防の更なる推進
- ※ 消防団組織の充実強化
- ※ 防火クラブ等の活性化と充実強化

職 員 指 針

『規律・協調・挑戦』

目 次

◇概 況◇	
1 位置・地勢及び人口	5 消防庁舎
(1) 位 置 …………… 1	庁舎の内容 …………… 24
(2) 地 勢 …………… 1	
(3) 人 口 …………… 1	◇警防関係◇
2 沿 革	1 防 災
(1) 周南市消防の沿革 …………… 2	(1) 周南市防災組織 …………… 26
(2) 徳山市消防の沿革 …………… 4	(2) 消防相互応援協定 …………… 27
(3) 新南陽市消防の沿革 …………… 7	2 消防水利 …………… 28
(4) 鹿野町消防の沿革 …………… 10	3 消防機械
(5) 熊毛町消防の沿革 …………… 13	(1) 消防車両等配備状況 …………… 29
	(2) 所属別車両一覧 …………… 30
◇総務関係◇	(3) 小型動力ポンプ …………… 32
1 組 織 図 …………… 14	(4) 周南市常備消防力の推移 …… 33
2 人 事	(5) 救急・救助機械器具 …………… 34
(1) 歴代消防長 …………… 15	(6) 現有ホース数 …………… 35
(2) 職員配置状況 …………… 15	(7) 消火薬剤備蓄量 …………… 35
(3) 勤続年数調 …………… 17	
(4) 年齢調 …………… 18	◇指令関係◇
(5) 特殊技能資格調 …………… 19	1 消防通信
(6) 実員(消防吏員)の推移 …… 19	(1) 通信機器位置図 …………… 36
3 庶 務	(2) 電話等 …………… 37
(1) 学校教育等実施状況 …………… 20	(3) 無線機配備状況等 …………… 38
(2) 令和5年度表彰状況 …………… 20	2 気 象
(3) 厚生 …………… 21	(1) 月別気温状況 …………… 39
(4) 消防職員の安全・衛生 …… 21	(2) 月別気象状況 …………… 40
4 予 算	(3) 湿度・風速 …………… 40
(1) 令和5年度当初予算 …………… 22	
(2) 市総予算との比較(年次別) …… 23	
(3) 予算概要(5年度) …………… 23	
(4) 消防費と人口との比較 …… 23	
(5) 総平均比較表 …………… 23	

◇予防関係◇		(4) 原因別・種別火災発生状況 … 53
1 一般予防	(1) 防火対象物数 …… 41	(5) 風速・湿度別火災発生状況 … 53
	(2) 消防用設備等設置状況 …… 42	(6) 用途別建物火災発生状況 …… 54
	(3) 消防用設備等検査件数 …… 42	(7) 出火件数の人口比 …… 54
	(4) 立入検査・違反処理状況 …… 42	(8) 消防分団管轄区域別 火災発生件数 …… 54
	(5) 住宅防火診断件数 …… 43	
	(6) 火災予防広報等実施状況 …… 43	2 救急統計
	(7) 消防クラブ等設置状況 …… 43	(1) 救急発生状況 …… 55
2 建 築	(1) 建築確認申請等消防同意件数・ 43	(2) 事故種別救急出場件数 …… 56
	(2) 階層別中高層建物数 …… 44	(3) 署所別救急出場件数 …… 57
◇危険物関係◇		(4) 署所別救急搬送人員 …… 57
1 危 険 物	(1) 危険物製造所等設置状況 …… 45	(5) 発生場所別搬送人員 …… 58
	(2) 屋外タンク貯蔵所の容量別状況 … 46	(6) 傷病程度別搬送人員 …… 58
	(3) 危険物製造所等の立入検査状況 … 46	(7) 過去5年間の救急出場の推移 …………… 59
	(4) 危険物保安技術協会審査委託状況 …………… 46	(8) 火災外等出場件数 …… 59
	(5) 危険物仮貯蔵、仮取扱、 仮使用承認状況 …… 46	◇消防団関係◇
	(6) 危険物製造所等諸届出状況 … 46	1 組 織 図 …… 60
	(7) 危険物関係許可検査等に係る 手数料納付状況 …… 46	2 人 事
2 石油コンビナート	(1) 区域の名称 …… 47	(1) 歴代消防団長 …… 61
	(2) 政令指定年月日 …… 47	(2) 消防団員の報酬及び諸手当 … 61
	(3) 特定事業所 …… 47	(3) 消防団員在籍年数調 …… 61
	(4) 法定事業所の防災資機材等 … 48	(4) 消防団員年齢調 …… 62
		(5) 消防団員の退職報償金 …… 62
		(6) 定員及び実員数 …… 63
◇火災と救急◇		3 消防機械
1 火災統計	(1) 年別火災発生状況 …… 50	(1) 分団別機械器具等配備表 …… 66
	(2) 月別火災発生状況 …… 51	(2) 車両一覧 …… 67
	(3) 時間別火災発生状況 …… 52	(3) 小型動力ポンプ …… 69
		(4) 周南市非常備消防力の推移 … 71

概

況

1 位置・地勢及び人口

2 沿革





1 位置・地勢及び人口

(1) 位置 周南市は、山口県の東南部に位置し、東経 131 度 48 分 22.4 秒、北緯 34 度 3 分 18.2 秒の地点にあって東は下松市、光市及び岩国市に、西は防府市、山口市に、北は島根県の吉賀町にそれぞれ接し、面積は 656.29 k m²を有している。

(2) 地勢 周南市北部一帯の地域は中国山地の西端部にあり、山地が多く起伏し、錦川と佐波川の源流地域にあたり、錦川に治水、工業用水及び発電の目的で建設された中国地方有数の貯水量を誇る菅野ダム (9,500 万 t) がある。東部は本州唯一のナベヅルの渡来地、八代があり、南部は瀬戸内海に面して、北から南に緩やかな傾斜を有して南部一帯は平たん地をなし、更に海岸部は内海特有の埋立地で拡大され、石油コンビナート群を形成しており、この間を東川、富田川、夜市川等が流れ徳山湾に注いでいる。徳山湾は大島半島と仙島、黒髪島及び大津島連島に囲まれ自然美にすぐれ、湾内は水深く波静かな天然の良港として特定重要港湾にも指定されている。

(3) 人口

年度別	面積 (k m ²)	人口 (人)	世帯数	備考
平成 27 年	656.29	147,863	67,533	
平成 28 年	656.29	147,010	67,837	
平成 29 年	656.29	145,839	67,956	
平成 30 年	656.29	144,472	68,021	
平成 31 年	656.29	143,113	68,088	
令和 2 年	656.29	141,809	68,153	
令和 3 年	656.29	140,392	68,125	
令和 4 年	656.29	138,718	67,979	
令和 5 年	656.29	137,248	67,959	
令和 6 年	656.29	135,315	67,625	面積は令和 6 年 4 月 1 日国土地理院調べ

2 沿革

(1) 周南市消防の沿革

- ◎ 平成 15 年 4 月 21 日 徳山市・新南陽市・熊毛町・鹿野町合併により、周南市消防本部（周南市新宿通五丁目 1 番 3 号）が発足（熊毛地区の常備消防については光地区消防組合消防本部が担当）
条例定数 199 名
1 本部 4 署 1 出張所 1 分遣所とする。
- ◎ 平成 16 年 1 月 15 日 消防ポンプ自動車（CD—I 型）1 台更新
- ◎ 平成 16 年 2 月 25 日 泡原液搬送車 1 台更新
- ◎ 平成 16 年 3 月 26 日 多重無線施設整備（本部、各署、千石岳・赤松ヶ平中継所）
- ◎ 平成 17 年 1 月 27 日 消防ポンプ自動車（CD—I 型）1 台更新
- ◎ 平成 17 年 2 月 24 日 水槽付消防ポンプ自動車（水 I—B 型）1 台更新
- ◎ 平成 17 年 2 月 24 日 高規格救急自動車 1 台更新
- ◎ 平成 17 年 4 月 1 日 指令室を 3 階に増築し、消防緊急情報システムの運用開始
- ◎ 平成 18 年 2 月 22 日 高規格救急自動車 1 台更新
- ◎ 平成 18 年 3 月 13 日 小型動力ポンプ付水槽車 1 台更新
- ◎ 平成 19 年 3 月 15 日 水槽付消防ポンプ自動車 1 台更新
- ◎ 平成 19 年 3 月 16 日 高規格救急自動車 1 台更新
- ◎ 平成 20 年 2 月 28 日 指揮指令車 1 台更新
- ◎ 平成 20 年 2 月 29 日 水槽付消防ポンプ自動車 1 台更新
- ◎ 平成 20 年 2 月 29 日 高規格救急自動車 1 台更新
- ◎ 平成 21 年 3 月 4 日 高規格救急自動車 1 台更新
- ◎ 平成 21 年 3 月 5 日 小型動力ポンプ付水槽車 1 台更新
- ◎ 平成 21 年 4 月 1 日 周南市職員定数条例を改正し、消防機関の職員定数を 200 人とする。
- ◎ 平成 22 年 3 月 2 日 水槽付消防ポンプ自動車 1 台配備
- ◎ 平成 22 年 3 月 5 日 屈折はしご自動車（シグマ）1 台更新
- ◎ 平成 22 年 4 月 1 日 「周南市北消防署北部分遣所」を移転し、「周南市北消防署北部出張所」を須々万奥 7 2 4 番 1 1 に開設（従前の救急業務に加え、消防業務を開始）
これにより 1 本部 4 署 2 出張所となる。
- ◎ 平成 22 年 11 月 30 日 総務省消防庁から支援車 I 型の無償貸与を受ける。
- ◎ 平成 23 年 3 月 1 日 高規格救急自動車 1 台更新
- ◎ 平成 23 年 3 月 3 日 化学消防ポンプ自動車 1 台更新
- ◎ 平成 24 年 2 月 27 日 高規格救急自動車 1 台更新
- ◎ 平成 24 年 3 月 1 日 小型動力ポンプ付水槽車 1 台更新
- ◎ 平成 24 年 10 月 27 日 「周南市西消防署西部出張所」を移転し、周南市大字戸田 2 7 4 8 番地の 2 に開設
- ◎ 平成 25 年 2 月 26 日 高規格救急自動車 1 台更新

- ◎ 平成 25 年 2 月 28 日 消防ポンプ自動車（CD—I型）1台更新
- ◎ 平成 25 年 11 月 10 日 徳山東ライオンズクラブから事務連絡車1台寄贈を受ける。
- ◎ 平成 25 年 11 月 11 日 査察広報車1台更新
- ◎ 平成 25 年 12 月 4 日 はしご付消防自動車1台更新
- ◎ 平成 26 年 12 月 3 日 日本消防協会から防災活動車1台寄贈を受ける。
- ◎ 平成 27 年 2 月 24 日 救助工作車1台更新
- ◎ 平成 27 年 3 月 2 日 消防ポンプ自動車（CD—I型・CAFS付）1台更新
- ◎ 平成 27 年 3 月 6 日 査察広報車1台更新
- ◎ 平成 27 年 10 月 23 日 査察広報車1台更新
- ◎ 平成 28 年 2 月 5 日 消防ポンプ自動車（CD—I型）1台更新
- ◎ 平成 28 年 3 月 4 日 資機材搬送車1台更新
- ◎ 平成 28 年 3 月 15 日 高規格救急自動車1台更新
- ◎ 平成 28 年 12 月 2 日 救助工作車1台更新
- ◎ 平成 28 年 12 月 9 日 指令指揮車1台更新
- ◎ 平成 29 年 2 月 10 日 高規格救急自動車1台更新
- ◎ 平成 29 年 2 月 22 日 資機材搬送車1台更新
- ◎ 平成 29 年 12 月 15 日 査察広報車1台更新
- ◎ 平成 30 年 1 月 31 日 大型化学高所放水車1台更新
- ◎ 平成 30 年 2 月 20 日 高規格救急自動車1台更新
- ◎ 平成 30 年 4 月 1 日 周南市職員定数条例を改正し、消防機関の職員定数を210人とする。
- ◎ 平成 31 年 1 月 25 日 高規格救急自動車1台更新
- ◎ 平成 31 年 2 月 27 日 指令指揮車1台更新
- ◎ 令和 2 年 2 月 13 日 高規格救急自動車1台更新
- ◎ 令和 2 年 2 月 28 日 支援車Ⅱ型1台更新
- ◎ 令和 3 年 2 月 18 日 高規格救急自動車1台更新
- ◎ 令和 3 年 2 月 26 日 化学消防自動車1台更新
- ◎ 令和 3 年 4 月 1 日 旧新南陽総合支所跡地に西消防署を移転し、運用を開始する。
- ◎ 令和 4 年 2 月 18 日 高規格救急自動車1台更新
- ◎ 令和 4 年 2 月 25 日 査察広報車1台更新
- ◎ 令和 4 年 12 月 23 日 多重無線装置更新
- ◎ 令和 5 年 2 月 15 日 高規格救急自動車1台更新
- ◎ 令和 5 年 3 月 17 日 消防ポンプ自動車（CD—I型）1台更新
- ◎ 令和 5 年 4 月 1 日 周南市職員定数条例を改正し、消防機関の職員定数を222人とする。
- ◎ 令和 5 年 9 月 26 日 はしご付消防自動車1台更新
- ◎ 令和 5 年 11 月 30 日 NBC災害用除染資機材更新
- ◎ 令和 6 年 2 月 15 日 高規格救急自動車1台更新
- ◎ 令和 6 年 3 月 15 日 資機材搬送車1台更新

(2) 徳山市消防の沿革

- ◎ 徳山市の公設消防機関は、明治21年1月に「徳山村火災消防規約書」を制定し、村内を分けて25の消防組合を置いたことに始まる。明治23年3月に消防組合を大幅に改組し「徳山村消防組」として25の組合を一つの組織のものとした。
- ◎ 明治27年2月9日国は勅令第5号「消防組規則」を公布したことにより、その後は各県知事が認める消防組合でなければ公設の消防組とは認められないこととなった。このことにより、明治27年5月22日山口県令第24号「山口県消防組規則施行細則」を制定公布し、この県令により市町村は新たに消防組を設けなければならないことになり、徳山村は明治27年10月25日をもって勅令消防組を設けた。
- ◎ 昭和初期に「平時における防護準備」と「有事における防護実施の協力援助」を目的とし、更に「防空」の事案をからめて全国自治体に「防護団」が創設されたが、徳山においても昭和10年（月日不詳）に消防組とは別個の組織として防護団が編制され、その後警防団令が公布されるまでこの組織は存在した。
- ◎ 戦時色の濃くなった昭和14年に消防組と防護団を統一して防空機能をもたすために、昭和14年1月24日の勅令第20号をもって警防団令が交付され、徳山市においては同年4月1日の警防団令施行に伴い、徳山市警防団が発足し消防警備に従事した（この日をもって、消防組も防護団も解散した）。
- ◎ 昭和17年4月4日加見村及び久米村を、更に昭和19年4月1日湯野村、戸田村、夜市村、福川町、富田町、櫛ヶ浜町及び大津島村を合併し、各々警防団を分団として改編した。
- ◎ 昭和20年、国内の空襲が激しくなり、同年1月15日徳山市常備消防隊を組織し、隊長以下30人が常備警防業務に従事していたが、終戦後の昭和20年12月にこれを解散した。
- ◎ 昭和22年4月30日勅令第185号をもって消防団令が公布施行され、これに基づいて同年9月20日に徳山市消防団を結成し、団長以下1,028人の団員を任命、本部と16ヶ分団を編制した。
- ◎ 昭和22年10月23日法律第226号をもって消防組織法が公布され、徳山市に常備消防を組織する前提準備として昭和23年2月28日付山口警備第331号通達により、定員21人をもって組織する下関消防署徳山出張所を徳山市大字徳山4006番地（現桜馬場1-1）に設置し、同年3月6日消防士以下12人を任命する。
- ◎ 昭和23年3月7日消防組織法施行に伴い、徳山市一円を管轄とする徳山市消防本部を徳山市大字徳山4006番地に設置し、併せて消防司令以下定員20人をもって徳山市消防署を設置した。
- ◎ 昭和24年8月1日行政区画の変更によって、都濃郡富田町を、同年9月1日同郡福川町（いずれも新南陽市）をそれぞれ分離し、16ヶ分団定員800人となる。
- ◎ 昭和30年1月14日 徳山市消防本部及び徳山市消防署を徳山市大字徳山3902番地（現岐山通り1-1市庁舎構内）に移転する
- ◎ 昭和30年10月1日 都濃郡向道村を合併し、消防団に向道分団を増設、1

- 7ヶ分団定員560人となる。
- ◎ 昭和33年11月 徳山市消防庁舎鉄筋コンクリート3階建（消防専用は1階）の建築を徳山市大字徳山3902番地市庁舎敷地内に着工、昭和34年5月竣工し、新庁舎に移転する。
 - ◎ 昭和34年4月1日 消防署に下関地方気象台徳山区内観測所を設置、従来の篤志気象観測業務であったものが甲種観測業務を行うこととなった。
 - ◎ 昭和34年10月19日 消防車1台日本損害保険協会から寄贈を受ける。
 - ◎ 昭和38年7月1日 救急業務を開始
 - ◎ 昭和39年10月1日 徳山市消防団の分団うち市街地区5ヶ分団（遠石、中央、今宿、海港、河原分団）を3ヶ分団（東部、西部、北部分団）に統廃合、15ヶ分団に改編するとともに消防団員を少数精鋭にして機動力を強化充実するため定員「560人」を「430人」に改める。
 - ◎ 昭和40年11月13日 日本損害保険協会から大型消防車1台寄贈を受ける。
 - ◎ 昭和40年12月13日 化学消防車を配備
 - ◎ 昭和41年1月1日 都濃郡都濃町と編入合併し、市消防団を徳山消防団（15ヶ分団）と都濃消防団（4ヶ分団）の2団を置き、定員は徳山消防団430人、都濃消防団250人、計680人となる。
 - ◎ 昭和42年4月1日 徳山市消防団の徳山消防団、都濃消防団の2団を徳山市消防団として1団（19ヶ分団）に統合し消防団員の定数の適正化を図るため定員「680人」を「560人」に改める。また都濃地区の名称「第1、第2、第3、第4分団」を「長穂、須々万、中須、須金分団」にそれぞれ改める。
 - ◎ 昭和43年2月6日 15m屈折梯子付消防車を配備
 - ◎ 昭和45年4月5日 徳山東ライオンズクラブから査察広報車1台寄贈を受ける。
 - ◎ 昭和47年3月31日 県が特殊化学車を配備
 - ◎ 昭和47年8月2日 日本消防協会から救急車1台寄贈を受ける。
 - ◎ 昭和47年8月24日 梯子付消防車を配備
 - ◎ 昭和47年11月17日 日本損害保険協会から軽化学車1台寄贈を受ける。
 - ◎ 昭和48年7月30日 林野火災工作車を配備
 - ◎ 昭和48年11月1日 徳山市消防音楽隊を結成する。
 - ◎ 昭和50年2月16日 消防通信指令室を設置、業務を開始する（鉄筋コンクリート平屋24.5㎡）。
 - ◎ 昭和50年4月1日 徳山市消防機関設置条例を改正し、岐山通1丁目1番地の徳山市消防署を「徳山市中央消防署」とし、新たに周陽2丁目8番20号に「徳山市東消防署」を開設し消防体制の強化を図る。
 - ◎ 昭和50年7月9日 日本消防協会から広報車1台寄贈を受ける。

- ◎ 昭和 50 年 10 月 18 日 「徳山市中央消防署西部出張所」を戸田 2 7 5 0 番地の 1 に開設し、業務の一部（救急業務）を開始した。
- ◎ 昭和 51 年 3 月 2 日 山口県生命建物共済農協連合会から救急車 1 台寄贈を受ける。
- ◎ 昭和 51 年 5 月 24 日 住友生命保険相互会社から救急車 1 台寄贈を受ける。
- ◎ 昭和 52 年 2 月 5 日 「徳山市中央消防署西部出張所」を鉄筋コンクリート造り平屋建てに改造するとともに「徳山市消防団戸田分団」機庫を併設整備した。
- ◎ 昭和 52 年 11 月 15 日 大型高所放水車配備
- ◎ 昭和 53 年 1 月 1 日 「徳山市中央消防署西部出張所」に消防車を 1 台配備し、消防体制の強化を図る。
- ◎ 昭和 53 年 12 月 25 日 大型化学車配備
- ◎ 昭和 54 年 2 月 15 日 小型動力ポンプ付水槽車配備
- ◎ 昭和 54 年 10 月 12 日 消防無線を多重化に整備し、須々万大ヶ原に中継局を設置する。
- ◎ 昭和 54 年 10 月 31 日 泡原液搬送車配備
- ◎ 昭和 55 年 2 月 8 日 化学車 1 台更新
- ◎ 昭和 55 年 3 月 29 日 化学消火剤備蓄倉庫（鉄筋コンクリート造り 2 階建延 7 2 m²）を築港町 5 0 番地に新築する。
- ◎ 昭和 57 年 6 月 27 日 徳山市新宿通五丁目 1 番 3 号に「徳山市消防本部」及び「徳山市中央消防署」を新築移転する。
- ◎ 昭和 57 年 10 月 21 日 日本損害保険協会から水槽付消防車 1 台寄贈を受ける。
- ◎ 昭和 58 年 3 月 10 日 救助工作車 I 型配備
- ◎ 昭和 62 年 2 月 29 日 屈折梯子付消防車（シグマ）更新
- ◎ 平成 元年 1 月 31 日 小型動力ポンプ付水槽車（I 型）配備
- ◎ 平成 元年 8 月 4 日 日本消防協会から電源照明車 1 台寄贈を受ける。
- ◎ 平成 3 年 3 月 1 日 山口県生命建物共済農協連合会から救急車 1 台寄贈を受ける。
- ◎ 平成 3 年 3 月 20 日 3 5 m 級梯子付消防自動車更新
- ◎ 平成 3 年 6 月 18 日 日本防火協会より広報車 1 台寄贈を受ける。
- ◎ 平成 3 年 11 月 13 日 緊急通報システム運用開始
- ◎ 平成 3 年 12 月 20 日 女性消防団員 1 0 名採用
- ◎ 平成 4 年 3 月 31 日 救助工作車 II 型配備
- ◎ 平成 4 年 12 月 7 日 「徳山市中央消防署北部分遣所」を須々万本郷 4 8 8 番地に開設し、業務の一部（救急業務）を開始した。
- ◎ 平成 5 年 3 月 26 日 指令室を改築し、消防緊急通信指令システムを更新、1 期工事完成
- ◎ 平成 5 年 11 月 5 日 徳山東ライオンズクラブから査察広報車（軽四）1 台寄贈を受ける。
- ◎ 平成 6 年 3 月 30 日 消防緊急通信指令システムの運用を開始、2 期工事完成
- ◎ 平成 6 年 10 月 31 日 大型高所放水車更新

- ◎ 平成 7 年 2 月 28 日 高規格救急車配備
- ◎ 平成 8 年 2 月 9 日 日本消防協会より広報車 1 台寄贈を受ける。
- ◎ 平成 8 年 3 月 27 日 全国消防人共済より広報車 1 台寄贈を受ける。
- ◎ 平成 9 年 1 月 15 日 救急救命士による高規格救急車の運用開始
(中央消防署)
- ◎ 平成 10 年 4 月 1 日 自動車電話、携帯電話 1 1 9 通報接続運用開始
- ◎ 平成 10 年 7 月 1 日 聴覚障害者用緊急ファックス運用開始
- ◎ 平成 11 年 3 月 23 日 高度救助用資機材配備
- ◎ 平成 11 年 3 月 23 日 大型化学車更新
- ◎ 平成 12 年 1 月 16 日 高規格救急車配備
- ◎ 平成 13 年 3 月 1 日 救助工作車Ⅲ型配備
- ◎ 平成 13 年 3 月 21 日 化学車更新
- ◎ 平成 14 年 3 月 20 日 多重無線施設の整備 (大ヶ原中継所)
- ◎ 平成 15 年 2 月 7 日 日本消防協会から特別表彰「まとい」を消防団が受章
- ◎ 平成 15 年 3 月 26 日 多重無線施設の整備 (本部・嶽山反射板)

(3) 新南陽市消防の沿革

- ◎ 明治 39 年 私設米光消防組を結成、腕用ポンプ 1 台購入
- ◎ 明治 43 年 私設消防組 (福川中市) 発足以来、福川、富田各町火消として消防業務につとめていた。
- ◎ 昭和 8 年 和田消防組発足
- ◎ 昭和 9 年 私設消防組を公設に切替え、米光を第 1 部、腕用ポンプ 2 台、和田を第 2 部、腕用ポンプ 1 台を各配備する。
- ◎ 昭和 14 年 警防団令公布とともに消防組を改組し、警察の補助機関とし、福川、富田、和田警防団に改組する。
和田警防団は各大字に分団を設け定員を 1 7 1 名とする。
- ◎ 昭和 19 年 徳山市に 4 月 1 日に合併編入され、徳山市富田警防団、同福川警防団と改名
- ◎ 昭和 22 年 警防団が廃止、消防団となり、徳山市富田、福川消防団と改組、和田消防団は本部を村役場に設置、定員 1 4 0 名、ガソリンポンプ 1 台、腕用ポンプ 3 台にて編制する。
- ◎ 昭和 24 年 徳山市より分離して再び、富田町と福川消防団として再発足
- ◎ 昭和 28 年 富田町、福川町合併により南陽町消防団と改名
第 1 消防団 (富田) 5 ヶ分団
第 2 消防団 (福川) 3 ヶ分団
- ◎ 昭和 30 年 都濃郡南陽町、佐波郡和田村との合併により、第 1 消防団、第 2 消防団廃止
南陽町消防団を次のように組織編制
第 1 ~ 第 5 分団 (富田)
第 6 ~ 第 8 分団 (福川)
第 9 ~ 第 1 2 分団 (和田)

- ◎ 昭和 40 年 政令指定にもとづき 4 月 2 日、南陽町消防本部を設置
- ◎ 昭和 41 年 南陽町消防庁舎を新築し、南陽町消防署を開設。最新鋭の重化学
消防車のほか、消防ポンプ自動車、救急車及び無線装置（基地局
1、移動局 2）を配備し、町民の信頼と付託にこたえるため常備、
非常備消防の組織機構の確立を図った。
消防職員 20 名 消防団員 221 名
- ◎ 昭和 42 年 消防職員の定数 20 名を 24 名に改正
消防団第 2、第 6、第 9 分団に小型動力ポンプ付積載車を配備
- ◎ 昭和 43 年 水槽付消防ポンプ自動車及び無線装置（基地局 1、移動局 3）を
配備
消防団第 3、第 8、第 12 分団に小型動力ポンプ付積載車を配備
- ◎ 昭和 44 年 消防職員の定数 24 名を 28 名に改正
消防団第 1、第 5、第 11 分団に小型動力ポンプ付積載車を配備
- ◎ 昭和 45 年 市制施行により消防機関名を新南陽市消防本部、新南陽市消防署
新南陽市消防団とそれぞれ改称
消防職員の定数 28 名を 32 名に改正
薬液運搬車を配備
消防団第 7 分団に消防ポンプ自動車、第 9、第 10 分団に小型動
力ポンプ付積載車を配備
- ◎ 昭和 46 年 消防職員の定数 32 名を 36 名に改正
救急業務を迅速かつ適正に処理するため、救急自動車を増車し、
救急体制の充実を図った。
- ◎ 昭和 47 年 高層ビル災害の対策として、30m 級梯子付消防ポンプ自動車及
び広報車、赤バイを配備
- ◎ 昭和 48 年 消防職員の定数 36 名を 40 名に改正
消防吏員の処遇改善、及び緊急出動時の招集に応じられる体制づ
くりを目的として、消防吏員待機宿舎（鉄筋コンクリート造 4 階
建 16 戸）の建設に着工
- ◎ 昭和 49 年 消防吏員待機宿舎完成
消防本部の組織を 2 課 3 係制に改組
消防職員の定数 40 名を 42 名に改正
- ◎ 昭和 50 年 通信の円滑を図るため通信指令装置を導入
新南陽市消防団の組織等に関する規則を制定し、従来の 12 分団
を 3 分団に改組
新開作地区私設消防団を第 1 分団第 2 部として編入
- ◎ 昭和 51 年 消防ポンプ自動車（CD-I 型）2 台配備
和田地区の初期消火体制を図るため特設消防隊発足
特設消防隊に水槽付消防ポンプ自動車を配備
- ◎ 昭和 52 年 消防本部の組織を 2 課 4 係に改組
消防情報案内のためテレホンサービス開始
土地区画整理事業に伴い第 1 分団第 4 部及び第 5 部の消防機庫移
転及び仮設機庫建設
日本船舶振興会より救急車の寄贈を受ける。

- ◎ 昭和 53 年 救助活動の推進を図るため救助工作車を配備
予防業務を円滑に運用するため査察車を配備
石油コンビナート等特別防災区域に係る消防相互応援協定を下関地区、宇部市、小野田市、徳山市、下松市及び岩国地区と締結した。
- ◎ 昭和 54 年 昭和 54 年度山口県石油コンビナート災害総合防災訓練が本市で実施される。
- ◎ 昭和 55 年 水槽付消防ポンプ自動車 I - A 型を配備、本部へ広報車を更新配備
消防団第 1 分団第 5 部消防機庫を移転、新築するとともに消防ポンプ自動車 (BD - I 型) を更新配備
- ◎ 昭和 56 年 消防団第 3 分団第 4 部へ小型動力ポンプ付積載車を更新配備
- ◎ 昭和 57 年 新南陽市消防団条例の一部を改正し、定数 205 名とし、第 1 分団を 5 部とする。
消防団第 2 分団第 3 部消防機庫を移転、新築する。
- ◎ 昭和 58 年 和田地区の無線不感地帯の解消及び消防団員招集用として消防同報通信設備を設置し出動体制の強化を図る。
消防団第 1 分団第 1 部消防機庫を移転、新築する。
幼年消防クラブ結成 (2 クラブ 159 名)
- ◎ 昭和 59 年 化学消防ポンプ自動車 (4 型) を署に更新配備、本部へ消防広報車及び指令車を更新配備
消防団第 3 分団第 1 部へ小型動力ポンプ付積載車を更新配備
日本消防協会より、救急車の寄贈を受ける。
消防団第 3 分団第 1 部及び第 3 分団第 4 部消防機庫改築
消防署仮眠室を改修し、環境の整備を図る。
- ◎ 昭和 60 年 和田地区の消防同報通信設備に避雷耐雷設備を設置
査察車を更新配備
消防署、車庫を増築
消防団第 3 分団第 2 部及び第 3 分団第 3 部・特設隊機庫改築
消防団第 3 分団第 2 部へ小型動力ポンプ付積載車を更新配備
- ◎ 昭和 61 年 水槽付消防ポンプ自動車 I - A 型を消防署に更新配備
消防団第 3 分団第 3 部へ消防ポンプ自動車 (BD - I 型) を更新配備
- ◎ 昭和 62 年 消防団第 1 分団第 2 部へ消防ポンプ自動車 (BD - I 型) を更新配備
消防団第 1 分団第 4 部消防機庫を新築、移転する。
- ◎ 昭和 63 年 消防職員の定数 42 名を 44 名に改正
消防署、倉庫を増築
消防団第 2 分団第 3 部へ小型動力ポンプ付積載車 (全自動) を更新配備
救急車更新配備

- ◎ 平成 元年 消防団第 2 分団第 1 部消防機庫新築
消防団第 2 分団第 1 部へ小型動力ポンプ付積載車（全自動）更新
配備
消防ポンプ自動車（CD-I 型）更新配備
- ◎ 平成 2 年 消防ポンプ自動車（CD-I 型）更新配備
消防団第 1 分団第 3 部消防機庫改築
消防団第 1 分団第 3 部へ小型動力ポンプ付積載車（全自動）を更
新配備
消防団第 3 分団第 4 部消防機庫一部増築
指令広報車更新配備
- ◎ 平成 3 年 女性消防団員 5 名採用（5 月 1 日）
消防団第 3 分団第 1 部消防機庫移転改築
消防団第 1 分団第 1 部へ小型動力ポンプ付積載車（全自動）を更
新配備
消防団第 1 分団第 4 部へ小型動力ポンプ付積載車（全自動）を更
新配備
薬液運搬車更新配備
- ◎ 平成 4 年 水槽付消防ポンプ自動車（A-I 型）を署に更新配備
消防団第 2 分団第 2 部へ小型動力ポンプ付積載車（全自動）を更
新配備
消防団第 2 分団第 2 部消防機庫移転改築
- ◎ 平成 5 年 消防職員の定数 44 名を 48 名に改正
梯子付消防自動車、指令車及び広報車を更新配備
- ◎ 平成 6 年 救急車更新配備
- ◎ 平成 7 年 査察車を更新配備
消防団本部へ小型動力ポンプ付積載車（全自動）を更新配備
- ◎ 平成 8 年 消防団第 3 分団第 4 部へ小型動力ポンプ付積載車（全自動）を更
新配備
- ◎ 平成 9 年 消防職員の定数 48 名を 49 名に改正
救助工作車を更新配備
- ◎ 平成 11 年 高規格救急自動車を配備
救急隊消毒室設置
- ◎ 平成 12 年 消防団第 3 分団第 1 部へ小型動力ポンプ付積載車（全自動）を更
新配備

（4）鹿野町消防の沿革

- ◎ 明治 38 年 5 月 5 日 公設鹿野村消防組設置（33 名）
- ◎ 昭和 14 年 警防団令により警防団を結成
- ◎ 昭和 22 年 7 月 16 日 消防団令により鹿野町消防団を設置（8 分団 218 名）
- ◎ 昭和 30 年 7 月 20 日 須金村との合併に伴い消防団の編入、9 分団編入とな

- る。
- ◎ 昭和 30 年 11 月 5 日 徳地町巢山地区編入合併に伴う消防団統合、10 分団編成となる。
 - ◎ 昭和 30 年 消防ポンプ自動車を購入する。
 - ◎ 昭和 31 年 小型動力ポンプを購入する。
 - ◎ 昭和 32 年 12 月 2 日 消防団組織改正により分団数を 11 とする。
 - ◎ 昭和 32 年 小型動力ポンプを購入する（2 台）。
 - ◎ 昭和 34 年 9 月 小型動力ポンプを購入する（2 台）。
 - ◎ 昭和 35 年 7 月 6 日 機動隊の結成を行ない消防力を強化する（分団数 12）。
 - ◎ 昭和 35 年 9 月 小型動力ポンプを購入する。
 - ◎ 昭和 37 年 9 月 小型動力ポンプを購入する。
 - ◎ 昭和 38 年 金峰地区分団から秘密尾地区を分離し 1 分団増設し分団数 13 とする。
 - ◎ 昭和 43 年 2 月 1 日 消防団各分団に婦人協力隊が発足する。
 - ◎ 昭和 43 年 8 月 小型動力ポンプを購入する。
 - ◎ 昭和 45 年 12 月 小型動力ポンプを購入する。
 - ◎ 昭和 47 年 金峰地区と秘密尾地区の分団を統合し分団数 12 とする。
 - ◎ 昭和 47 年 9 月 可搬積載車を購入する。
 - ◎ 昭和 48 年 10 月 可搬積載車を購入する。
 - ◎ 昭和 51 年 3 月 可搬積載車を購入する（3 台）。
 - ◎ 昭和 51 年 6 月 指揮車の寄贈を受ける（鹿野ライオンズクラブより）。
 - ◎ 昭和 51 年 7 月 小型動力ポンプを購入する。
 - ◎ 昭和 52 年 7 月 1 日 救急業務を新南陽市に委託する。
 - ◎ 昭和 52 年 9 月 小型動力ポンプを購入する（2 台）。
 - ◎ 昭和 53 年 3 月 7 日 消防団に消防協会より表彰旗を授与される。
 - ◎ 昭和 53 年 8 月 小型動力ポンプを購入する。
 - ◎ 昭和 54 年 3 月 消防庁舎新築落成
 - ◎ 昭和 54 年 9 月 小型動力ポンプを購入する（4 台）。
 - ◎ 昭和 55 年 3 月 8 日 消防救急課の設置及び職員定数条例を改正し、消防職員を 12 名とする。
 - ◎ 昭和 55 年 4 月 1 日 新規 10 名を採用し職員 12 名を配置する。
 - ◎ 昭和 55 年 7 月 小型動力ポンプを購入する（2 台）。
 - ◎ 昭和 55 年 10 月 1 日 消防本部、消防署の設置指定を国へ要望する。
 - ◎ 昭和 55 年 10 月 15 日 中国自動車道開通に伴い救急業務宿日直が開始される（12 月 19 日まで）。
 - ◎ 昭和 55 年 12 月 19 日 救急業務の委託を廃止する。
 - ◎ 昭和 55 年 12 月 20 日 救急業務開始する。
 - ◎ 昭和 55 年 12 月 24 日 救急車の寄贈を受ける（日本損害保険協会より）。
 - ◎ 昭和 56 年 3 月 30 日 消防ポンプ自動車を購入する。
 - ◎ 昭和 56 年 4 月 1 日 新規 5 名を採用し職員 17 名となる。
 - ◎ 昭和 56 年 4 月 2 日 消防本部、消防署の設置指定を受ける。
 - ◎ 昭和 56 年 7 月 小型動力ポンプを更新する（2 台）。

- ◎ 昭和 57 年 1 月 1 日 消防本部、消防署の開設
- ◎ 昭和 57 年 2 月 16 日 広報指令車を購入する。
- ◎ 昭和 57 年 4 月 1 日 消防本部、消防署の設置により、消防団組織を改変し分団数 1 2 を 7 分団とし定員を 2 0 0 名とする。
- ◎ 昭和 57 年 9 月 小型動力ポンプを更新する (2 台)。
- ◎ 昭和 58 年 9 月 運搬車を購入する。
- ◎ 昭和 58 年 9 月 可搬積載車を更新する (3 台)。
- ◎ 昭和 60 年 5 月 22 日 鹿野町有線放送に消防用緊急放送設備と緊急電話を設置する。
- ◎ 昭和 60 年 9 月 可搬積載車を更新する (3 台)。
- ◎ 昭和 61 年 1 月 1 日 鹿野町消防団婦人協力隊の名称を鹿野町婦人消防隊に変更する。
- ◎ 昭和 61 年 9 月 20 日 可搬積載車を更新する (1 台)。
- ◎ 昭和 62 年 1 月 1 日 消防署に救助隊を編成する。
- ◎ 昭和 62 年 2 月 10 日 消防団に竿頭綬を日本消防協会より授与される。
- ◎ 昭和 63 年 2 月 29 日 救急車を更新する。
- ◎ 昭和 63 年 8 月 30 日 消防ポンプ自動車の寄贈を受ける (信越化学工業株式会社)。
- ◎ 平成 元年 7 月 救急医療情報システムを更新する。
- ◎ 平成 元年 8 月 31 日 無線局 (全国共通波) を増設する。
無線局 (移動局) を増設する (2 局)。
- ◎ 平成 2 年 3 月 22 日 小型動力ポンプ付水槽車を購入する。
- ◎ 平成 2 年 4 月 1 日 消防職員 1 名を採用し欠員を補充する。
- ◎ 平成 2 年 6 月 30 日 分団機庫の移設 (上野→下市)
- ◎ 平成 2 年 8 月 27 日 小型動力ポンプを更新する (1 台)。
- ◎ 平成 4 年 2 月 28 日 照明灯付広報指令車を購入する。
- ◎ 平成 4 年 6 月 19 日 小型動力ポンプを更新する (1 台)。
- ◎ 平成 4 年 8 月 19 日 日本消防協会から広報車の寄贈を受ける。
- ◎ 平成 4 年 9 月 4 日 衛星通信が運用開始される。
- ◎ 平成 4 年 12 月 15 日 無線局 (移動局) を増設する (1 局)。
- ◎ 平成 5 年 3 月 22 日 緊急通報システムが設置される。
- ◎ 平成 5 年 4 月 1 日 採用により消防職員を 2 名増員する。
- ◎ 平成 5 年 6 月 小型動力ポンプを更新する (1 台)。
- ◎ 平成 6 年 3 月 10 日 可搬積載車を更新する (2 台)。
- ◎ 平成 6 年 8 月 5 日 小型動力ポンプを更新する (1 台)。
- ◎ 平成 7 年 9 月 6 日 小型動力ポンプを更新する (1 台)。
- ◎ 平成 8 年 2 月 29 日 可搬積載車を更新する (2 台)。
- ◎ 平成 9 年 3 月 31 日 鹿野町婦人消防隊が廃止される。
- ◎ 平成 9 年 4 月 1 日 女性消防団員 2 0 名採用
消防団組織改革が行なわれ、1 本部 3 分団 (上分団、下分団、役場分団) となる。
役場分団 (分隊) 機庫を新設し旧第 6 分団奥畑機庫を廃止する。

- ◎ 平成 9 年 10 月 1 日 下分団金松分隊機庫を新築し旧第 5 分団杉の河内機庫を廃止する。
- ◎ 平成 10 年 1 月 14 日 消防ポンプ自動車を更新する（署）。
- ◎ 平成 11 年 11 月 30 日 小型動力ポンプを更新する（1 台）。
- ◎ 平成 12 年 2 月 29 日 下分団消防ポンプ自動車を全自動小型動力ポンプ付積載車に更新する。
- ◎ 平成 12 年 6 月 16 日 小型動力ポンプを更新する（1 台）。
- ◎ 平成 13 年 7 月 11 日 小型動力ポンプを更新する（1 台）。
- ◎ 平成 13 年 8 月 29 日 消防資機材搬送車を更新する（署）。
- ◎ 平成 13 年 11 月 26 日 上分団消防ポンプ自動車を全自動小型動力ポンプ付積載車に更新する。

（5）熊毛町消防の沿革

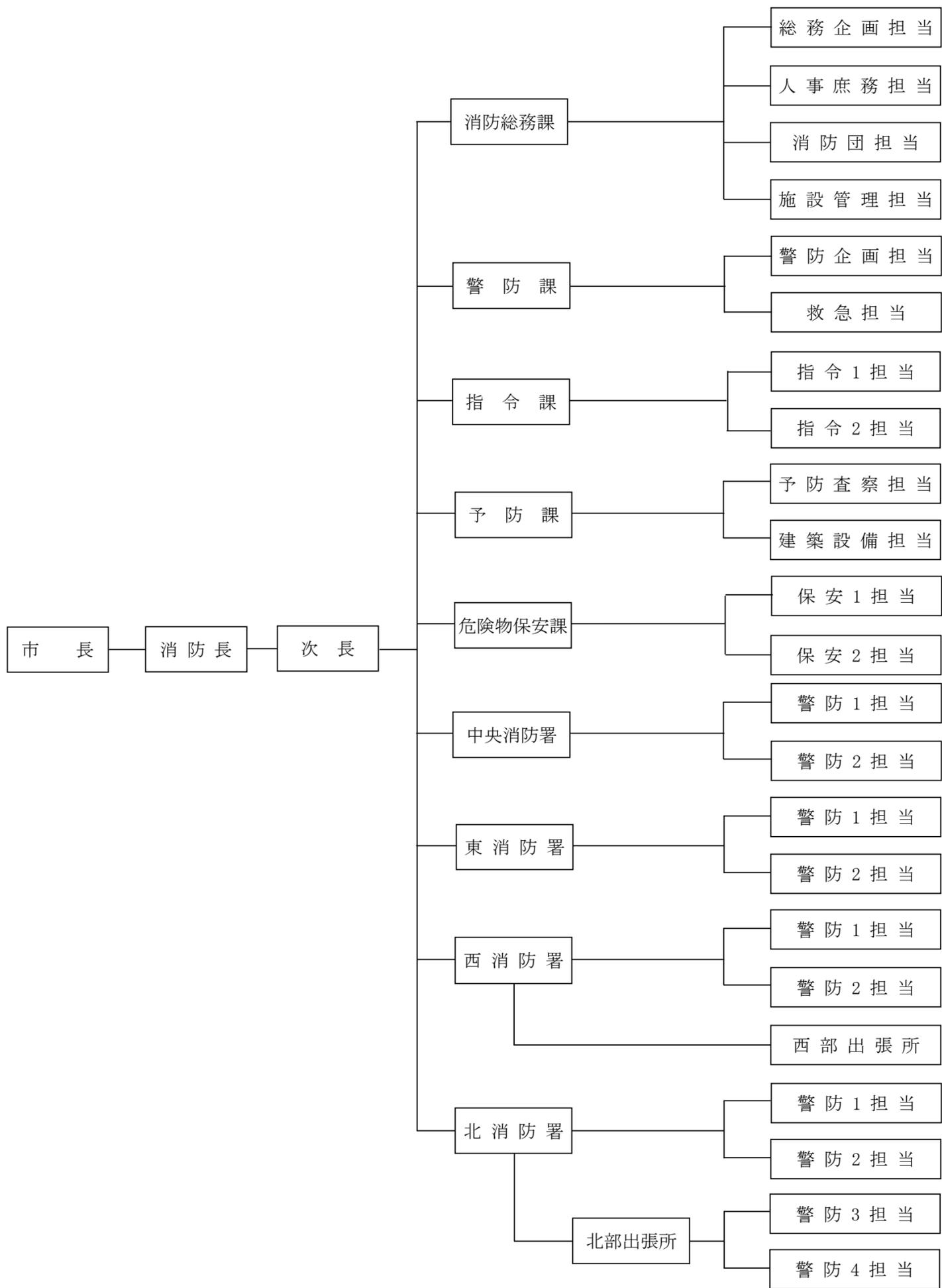
- ◎ 明治 42 年 1 月 山口県告示第 15 号にて、消防組認可設立
三丘村消防組、高水村消防組、勝間村消防組、八代村消防組が発足
- ◎ 昭和 13 年 1 月 3 日 消防組から警防団へ名称を変更
- ◎ 昭和 22 年 8 月 1 日 警防団から消防団へ名称を変更
- ◎ 昭和 31 年 9 月 30 日 三丘村、高水村、勝間村、八代村が合併により熊毛町として発足熊毛町の発足に伴い熊毛町消防団三丘分団、高水分団、勝間分団、八代分団として発足
- ◎ 昭和 40 年 11 月 1 日 熊毛町消防団機動隊が発足
- ◎ 昭和 46 年 4 月 1 日 定年年齢を 55 歳未満に設定
- ◎ 昭和 47 年 3 月 4 日 大和町、田布施町及び熊毛町が消防本部・消防署の義務設置の政令指定について自治省へ陳情書提出
- ◎ 昭和 47 年 4 月 1 日 消防団定数を 240 名に改めた。
- ◎ 昭和 47 年 4 月 15 日 消防本部及び消防署の義務設置町として、大和町、田布施町及び熊毛町が指定された。
- ◎ 昭和 47 年 7 月 1 日 山口県知事許可、光地区消防組合発足（光市、大和町、田布施町、熊毛町が共同設置）
- ◎ 昭和 47 年 9 月 7 日 第 1 回光地区消防組合議会開催
- ◎ 昭和 48 年 3 月 31 日 光地区消防組合業務開始
- ◎ 昭和 60 年 1 月 1 日 熊毛町消防団大河内分団 33 名で勝間分団から分離独立により発足し、1 団本部 6 分団となる。
三丘分団 45 名、高水分団 39 名
勝間分団 39 名、大河内分団 33 名
八代分団 58 名、機動隊 24 名

総務関係

- 1 組織 図
- 2 人 事
- 3 庶 務
- 4 予 算
- 5 消 防 庁 舎



1 組織図



2 人 事

(1) 歴代消防長

	氏 名	期 間	備 考
初 代	南 克 彦	就任 平成 15 年 4 月 21 日 退職 平成 16 年 3 月 31 日	
二 代	奥 田 義 和	就任 平成 16 年 4 月 1 日 退職 平成 19 年 3 月 31 日	
三 代	山 本 恭 正	就任 平成 19 年 4 月 1 日 退職 平成 23 年 3 月 31 日	
四 代	河 本 晃	就任 平成 23 年 4 月 1 日 退職 平成 28 年 3 月 31 日	
五 代	村 野 行 徳	就任 平成 28 年 4 月 1 日 退職 令和 2 年 3 月 31 日	
六 代	藤 井 陽 治	就任 令和 2 年 4 月 1 日 退職 令和 5 年 3 月 31 日	
七 代	山 本 亜 希 広	就任 令和 5 年 4 月 1 日	

(2) 職員配置状況

配置別	階 級	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
	消 防 長	1								
次 長			1							1
消 防 総 務 課				1	1	4	4		3	13
警 防 課				1	1	2	2			6
指 令 課				1	1	4	6		2	14
予 防 課				1	1	2	4			8
危 険 物 保 安 課				1	1	2	4		1	9
県 消 防 保 安 課 派 遣										0
市 役 所 派 遣							1			1
山 口 県 消 防 防 災 航 空 セ ン タ ー 派 遣							1			1
消 防 学 校 初 任 総 合 教 育									5	5
小 計		1	1	5	5	14	22	0	11	59

階級 配置別		消防監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
中央消防署	署長			1						1
	副署長				1					1
	警防1担当					2	8	1	4	15
	警防2担当					2	8	1	4	15
	日勤									0
	小計			1	1	4	16	2	8	32
東消防署	署長			1						1
	副署長				1					1
	警防1担当					2	8	2	3	15
	警防2担当					2	8	2	3	15
	日勤									0
	小計			1	1	4	16	4	6	32
西消防署	署長			1						1
	副署長				1					1
	警防1担当					2	8	1	4	15
	警防2担当					2	8	3	2	15
	日勤									0
	西部出張所				1	2	6	1	1	11
	小計			1	2	6	22	5	7	43
北消防署	署長			1						1
	副署長				1					1
	警防1担当					2	5	1	1	9
	警防2担当					2	5		2	9
	北部出張所				1					1
	警防3担当					2	5	1	1	9
	警防4担当					2	5	1	1	9
	日勤									0
	小計			1	2	8	20	3	5	39
合計	1	1	9	11	36	96	14	37	205	

(3) 勤続年数調

階級 区分	消防監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
1年未満								5	5
1年								3	3
2年								4	4
3年								3	3
4年								4	4
5年							1	4	5
6年						1		6	7
7年							1	4	5
8年						2	1	3	6
9年							1	1	2
10年						3	4		7
11年						3	3		6
12年						5	1		6
13年						2			2
14年					2	9	2		13
15年						9			9
16年					1	13			14
17年						2			2
18年									0
19年						10			10
20年					2	4			6
21年					2				2
22年					1	1			2
23年					1				1
24年					2				2
25年				1		1			2
26年				1	1	1			3
27年					2	3			5
28年					3	3			6
29年			1	2	2	3			8
30年					2				2
31年			1	4	5	9			19
32年			1	2	2	2			7
33年						1			1
34年			5		4	2			11
35年									0
36年			1		2				3
37年		1		1	1	1			4
38年	1				1	1			3
39年									0
40年									0
41年									0
42年						4			4
43年						1			1
44年									0
45年									0
人員平均	1	1	9	11	36	96	14	37	205
	38.0	37.0	33.1	30.4	27.5	18.6	10.6	4.1	24.9

(4) 年齢調

階級 区分	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
18歳									0
19歳								2	2
20歳								4	4
21歳								4	4
22歳								3	3
23歳								2	2
24歳								5	5
25歳								5	5
26歳								6	6
27歳							1	4	5
28歳							3	2	5
29歳							1		1
30歳						2	5		7
31歳						2	2		4
32歳						6	2		8
33歳						4			4
34歳						8			8
35歳						5			5
36歳						6			6
37歳						7			7
38歳					3	4			7
39歳					1	4			5
40歳						3			3
41歳						3			3
42歳					1	6			7
43歳					1	3			4
44歳					1	1			2
45歳					2	1			3
46歳					2	2			4
47歳				1	4	4			9
48歳				2	4	2			8
49歳			1		4	9			14
50歳				2	1	2			5
51歳			1	3	2				6
52歳					2	2			4
53歳			1	2		2			5
54歳			2		4				6
55歳				1	2				3
56歳	1		3			2			6
57歳		1	1		1				3
58歳									0
59歳					1	1			2
60歳									0
61歳						2			2
62歳						2			2
63歳						1			1
人員	1	1	9	11	36	96	14	37	205
平均	56.0	57.0	54.0	50.6	48.3	41.7	29.7	23.8	45.1

年代別人員	10代	20代	30代	40代	50代	60代
	2	40	61	57	40	5

(5) 特殊技能資格調

区 分		取得人員	区 分	取得人員
自動車免許	大型一種	164	防火対象物点検資格者	1
	大型二種	16	一般毒劇物取扱者	2
	普通二種	17	救急救命士	63
	けん引	3	車両系建築機械運転技能者	1
小型移動式クレーン		89	研削といし	1
玉掛技能講習修了者		102	衛生管理者	5
電気工事士		3	潜水士	15
消防設備点検資格者		3	ボイラー技士2級	4
消防設備士	甲種	5	特殊無線技士	200
	乙種	17	酸素欠乏・硫化水素	26
危険物取扱者	甲種	3	ガス溶接講習修了者	44
	乙種	51	石油機器技術管理士	1
	丙種	10	自家発電設備専門技術者	2
小型船舶操縦士	1級	4	蓄電池設備整備資格者	1
	2級	2		
特定化学物質主任者		5		

(6) 実員（消防吏員）の推移

年度	階級 消 正 防 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消防士	合 計
平成27年	1	1	9	13	32	80	14[1]	49	199[1]
平成28年	1	1	8	11	34	86	13[2]	46	200[2]
平成29年	1	1	8	11	33	89	15[3]	42	203[3]
平成30年	1	1	9	11	34	95	18[4]	43	212[4]
平成31年	1	1	9	10	35	90	17[5]	47	210[5]
令和2年	1	1	10[1]	11	35	89	20[4]	42	209[5]
令和3年	1	1	10[1]	11	36	91	18[4]	41	209[5]
令和4年	1	1	10[1]	12 [1]	37	96 [6]	15	39	211[8]
令和5年	1	1	11[2]	12 [1]	37	95 [5]	12	38	207[8]
令和6年	1	1	9	11	36	96 [5]	14	37	205[5]

※[]:再任用者数

3 庶務

(1) 学校教育等実施状況

区分 年度	消防大学校								県消防学校								救急救命研修所	合計
	上級幹部科	予防火防科	火災調査科	警防科	救助科	救急科	その他	初任総合教育	中級幹部科	初級幹部科	予防火防科	火災調査科	大規模災害対策科	救助科	消防団指導科	その他		
平成26年								7			2	2	2	2			2	17
平成27年							2	2		2	2	2	2				2	16
平成28年					1		1	6			2	3	2	2			1	18
平成29年							1	5		2	2	2	2		3		2	21
平成30年	1						1	8			1	1	1	1	1	1	1	17
平成31年	1							8		1	2	1	1	2	1	1	2	20
令和2年								3				2					1	6
令和3年								3		1	1	1	1	1	1	1	1	11
令和4年				1				4			1	1	1	2	1		1	12
令和5年								3		1	2	2		2		2		12

(2) 令和5年度表彰状況

表彰者 区分	職員							団員				合計
	永年勤続功労章	功労章	救急功労者表彰章	功績章	精績章	勤続章	その他	永年勤続功労章	功労章	精績章	勤続章	
消防庁長官	2							4				6
日本消防協会長							19			3	13	35
県消防協会長		2		2			19	4	2		55	84
県知事	1	1						6	2			10
全国消防長会長	2							1				3
全国消防長会中国支部長	8											8
市長											25	25
合計	13	3	0	2	0	38	5	10	4	3	93	171

(3) 厚生

- ◎ 周南市職員共済会（会員の福利厚生及び親睦を図り、相互扶助を行うことを目的とする。）
- ◎ 周南市消防団員共済会（会員の福利厚生及び親睦を図り、相互扶助を行うことを目的とする。）

(4) 消防職員の安全・衛生

ア 安全管理

市民の生命と暮らしに直結する重要な行政を担う消防職員は、自己の安全を確保することはもちろん、職場ぐるみで安全管理を進め消防業務を円滑に推進しなければならない。

周南市消防においては、周南市消防安全管理規程により安全管理体制を定め、安全管理者による巡視や安全協議会を定期的に開催し、安全管理に努めている。

公務災害発生状況

(令和5年中)

	火 災	救急業務	訓 練	通勤途中	その他	合 計
負 傷 者	0	0	0	0	1	1

イ 衛生管理

周南市消防においては、周南市消防衛生管理規程により職場及び職員の衛生管理に必要な事項を定め、定期健康診断、産業医による健康相談、衛生管理者による庁舎巡視、また衛生委員会を開催して衛生管理に努めている。

4 予 算

(1) 令和6年度当初予算

(単位：千円)

項 目	節	令和6年度
消 防 費		3,111,396
常 備 消 防 費		2,282,516
	報 酬	670
	給 料	793,842
	職 員 手 当 等	589,649
	共 済 費	269,483
	報 償 費	123
	旅 費	1,595
	交 際 費	20
	需 用 費	59,022
	役 務 費	24,266
	委 託 料	89,351
	使用料及び賃借料	3,712
	備 品 購 入 費	181,920
	負担金補助及び交付金	266,485
	公 課 費	2,378
非 常 備 消 防 費		210,148
	報 酬	77,000
	災 害 補 償 費	1
	報 償 費	26,433
	旅 費	103
	交 際 費	30
	需 用 費	12,020
	役 務 費	1,564
	委 託 料	1,252
	使用料及び賃借料	250
	備 品 購 入 費	62,756
	負担金補助及び交付金	27,500
	公 課 費	1,239
消 防 施 設 費		618,732
	報 償 費	40
	旅 費	152
	需 用 費	1,619
	役 務 費	44
	委 託 料	13,266
	工 事 請 負 費	563,321
	原 材 料 費	168
	備 品 購 入 費	0
	負担金補助及び交付金	40,122
	補償補填及び賠償金	0

(2) 市総予算との比較 (年次別)

(単位：千円)

年次別	市総予算額	消防費予算額	市総予算額と消防費との比
平成27年	64,043,000	2,393,882	3.7%
平成28年	63,144,000	2,440,519	3.9%
平成29年	70,839,000	2,471,929	3.5%
平成30年	64,335,000	2,740,599	4.3%
平成31年	63,108,000	2,809,780	4.5%
令和2年	63,081,000	3,520,742	5.6%
令和3年	60,681,000	2,655,016	4.4%
令和4年	66,197,000	3,283,371	5.0%
令和5年	71,081,000	2,628,068	3.7%
令和6年	72,660,000	3,111,396	4.3%

(3) 予算概要 (令和6年度)

(単位：千円)

消防費予算額 (A)	内 訳					
	常備消防費 (B)	$B/A \times 100$	非常備消防費 (C)	$C/A \times 100$	消防施設費 (D)	$D/A \times 100$
3,111,396	2,282,516	73.4%	210,148	6.8%	618,732	19.8%

(4) 消防費と人口との比較

令和6年度 消防費予算額	1世帯当 平均負担額	人口1人当 平均負担額	備 考
3,111,396 千円	46,010 円	22,994 円	世帯数 67,625 世帯 人口 135,315 人

(5) 総平均比較表

消防吏員 1人に対して			消防署所数に対して			常備消防ポンプ自動車 1台に対して			救急車1台に対して		
面積 (km ²)	世帯数	人口	面積 (km ²)	世帯数	人口	面積 (km ²)	世帯数	人口	面積 (km ²)	世帯数	人口
2.9	297.3	591.0	97.6	10,156.3	20,191.0	48.8	5,078.2	10,095.5	58.6	6,093.8	12,114.6
205 人			6 署所			12 台			10 台		

5 消防庁舎

庁舎の内容

ア 周南市消防本部・中央消防署（周南市新宿通五丁目1番3号）

構 造	階別	主用途	床面積	備 考
鉄筋コンクリート造	地階	車 庫	479.66 m ²	延べ面積 3,281.60 m ² 敷地面積 2,344.27 m ²
	1階	車 庫	894.89 m ²	
	2階	事務室	898.36 m ²	
	3階	指令室	885.02 m ²	
	4階	倉 庫	99.15 m ²	
	5階	訓練塔	24.52 m ²	

イ 東消防署（周南市周陽二丁目8番20号）

構 造	階別	主用途	床面積	備 考
鉄筋コンクリート造	地階	機械室	55.95 m ²	延べ面積 1,148.06 m ² 敷地面積 1,567.87 m ²
	1階	車 庫	518.79 m ²	
	2階	事務室	497.83 m ²	
	—	搭 屋	27.49 m ²	
コンクリートブロック造	1階	倉 庫	24.00 m ²	
	2階		24.00 m ²	

ウ 西消防署（周南市富田一丁目1番2号）

構 造	階別	主用途	床面積	備 考
鉄 骨 造	1階	事務室・車庫	1,309.78 m ²	延べ面積 1,996.61 m ² 敷地面積 4,940.12 m ²
	2階	訓練室・食堂	264.74 m ²	
鉄筋コンクリート造	5階	主訓練塔	200.00 m ²	
鉄筋コンクリート造	2階	副訓練塔	118.77 m ²	
鉄 骨 造	3階	資機材庫	103.32 m ²	

エ 西消防署西部出張所（周南市大字戸田2748番地の2）

構 造	階別	主用途	床面積	備 考
鉄 骨 造	1階	車 庫	324.24 m ²	延べ面積 518.25 m ² 敷地面積 1,589.22 m ²
	2階	待機室	173.71 m ²	
鉄 骨 造	1階	訓練塔	10.15 m ²	
	2階		10.15 m ²	

オ 北消防署（周南市大字鹿野上2822番地の4）

構 造	階別	主用途	床面積	備 考	
鉄筋コンクリート造	1階	車庫	322.80 m ²	延べ面積	501.52 m ²
	中2階	倉庫	28.11 m ²	敷地面積	685.00 m ²
	2階	事務室	150.61 m ²		

カ 北消防署北部出張所（周南市大字須々万奥724番11）

構 造	階別	主用途	床面積	備 考	
鉄 骨 造	1階	車庫	490.10 m ²	延べ面積	661.70 m ²
	2階	待機室	171.60 m ²	敷地面積	2,519.18 m ²

キ 化学消火剤備蓄倉庫（周南市築港町55番地）

構 造	階別	主用途	床面積	備 考	
鉄筋コンクリート造	1階	倉庫	36.00 m ²	延べ面積	172.42 m ²
	2階		36.00 m ²	敷地面積	357.36 m ²
鉄 骨 造	1階	車庫	100.42 m ²		

警 防 關 係

1 防 災

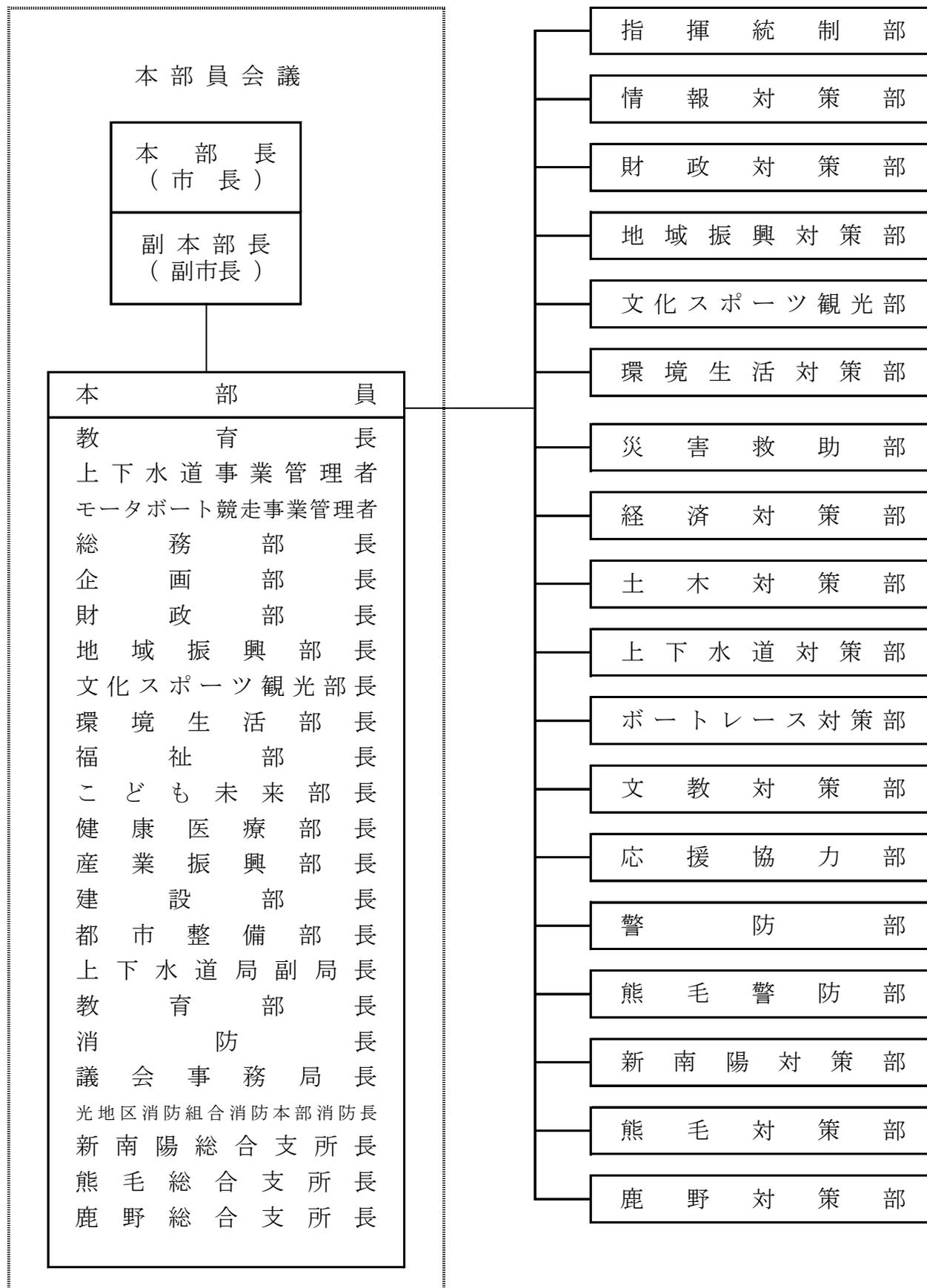
2 消 防 水 利

3 消 防 機 械



1 防 災

(1) 周南市防災組織

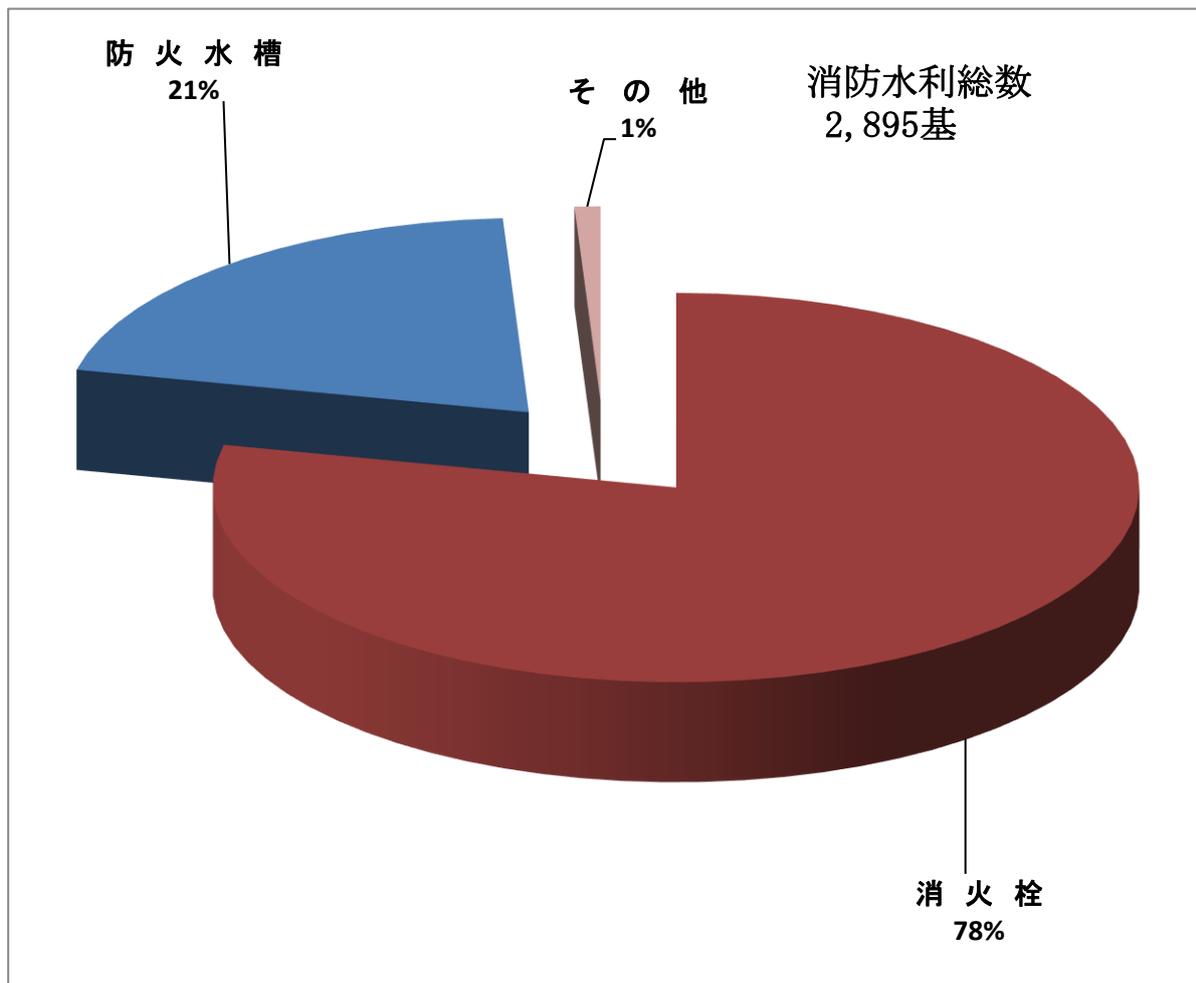


(2) 消防相互応援協定

協定名称	協定先	締結年月日	区分
山口県内広域消防相互応援協定	県下18市町 4消防組合	H24.4.1	周南市
中国自動車道及び山陽自動車道における消防相互応援協定	県下8市 3消防組合	H24.4.1	周南市
山口県消防防災ヘリコプター応援協定	山口県 18市町 4消防組合	H24.4.1	周南市
石油コンビナート等特別防災区域に係る消防相互応援協定	下関市 岩国地区消防組合 宇部・山陽小野田消防組合	H24.4.1	周南市
消防相互応援協定	日本精蠟(株)徳山工場	H15.4.21	消 防
	出光興産(株)徳山事業所	H26.4.1	
	日本ゼオン(株)徳山工場 (株)トクヤマ徳山製造所	H15.4.21	
	日鉄ステンレス(株) 製造本部 山口製造所周南エリア	H27.4.1	
	東ソー(株)南陽事業所 (株)レゾナック徳山事業所 東ソー・ファインケム(株)	H15.4.21	
	三井化学(株)岩国大竹工場 徳山分工場	H21.4.23	
	業務協定	徳山海上保安部	
災害時における包括的消防支援協定	(株)トクヤマ、トクヤマ海陸運送(株)、共栄石油(株)、西部徳山生コンクリート(株)	R6.4.17	周南市

2 消防水利

	防 火 水 槽						消 火 栓				そ の 他			合 計	
	公 設			私 設			小 計	公 設	私 設	小 計	プ ー ル 池	その 他 (海・河川・池)	小 計		
	40 t 未 満	40 t 以 上	100 t 以 上	40 t 未 満	40 t 以 上	100 t 未 満									
合計	73	387	17	7	112	0	596	2,204	69	2,273	24	0	2	26	2,895



3 消 防 機 械

(1) 消防車両等配備状況

車 種 \ 所 属	合 計	消防本部	中央消防署	東消防署	西消防署	西部出張所	北消防署	北部出張所
合 計	64	15	12	11	12	4	6	4
消防ポンプ車	6		1	1	1	1	1	1
水槽付消防ポンプ車	6		1	1	2		1	1
はしご車	1		1					
屈折はしご車	2			1	1			
大型化学高所放水車	1		1					
化学消防ポンプ車	4		1	1	1	1		
泡原液搬送車	1		1					
救助工作車	3		1	1	1			
小型動力ポンプ付水槽車	3		1	1			1	
支援車	1				1			
高規格救急車	10	1	2	2	2	1	1	1
救急指導車	1	1						
指令・指揮車	5	1	1	1	1		1	
査察・広報車	6	4			1			1
連絡車	4	4						
運搬車	2	2						
資機材搬送車	6	1	1	1	1	1	1	
人員搬送車	1	1						
小型動力ポンプ付積載車	1			1				

(2) 所属別車両一覧

【消防本部】

No	車両名等	シャシメーカー	登録番号	初年度登録	排気量	総重量	最大積載量	定員	自動車区分	ポンプ級別	備考
1	周南 1 指令・指揮車	トヨタ	山口800す5967	H31.2	2,690cc	3,085kg	-	5	普通		
2	周南 2 運搬車	ダイハツ	山口483こ119	H25.10	650cc	1340kg(1350kg)	350kg(250kg)	2(4)	普通		軽自動車
3	周南 3 査察・広報車	日産	山口800す3754	H27.3	1,590cc	1,775kg	-	7	普通		
4	周南 4 査察・広報車	日産	山口800さ1396	H12.3	1,760cc	1,485kg	-	5	普通		
5	周南 6 連絡車	トヨタ	山口400て2913	R3.12	1,490cc	1600kg(1615kg)	400kg(250kg)	2(5)	普通		リース車
6	周南 7 連絡車	トヨタ	山口400て2916	R3.12	1,490cc	1600kg(1615kg)	400kg(250kg)	2(5)	普通		リース車
7	周南 8 連絡車	トヨタ	山口300み194	H22.4	1,790cc	1,585kg	-	5	普通		本庁総務課
8	周南 9 人員搬送車	日産	山口800す1809	H23.8	2,950cc	5,495kg	-	29	中型		
9	周南 10 査察・広報車	トヨタ	山口800す7504	R4.2	1,490cc	1640kg(1655kg)	400kg(250kg)	2(5)	普通		
10	周南 11 査察・広報車	三菱	山口800す3605	H26.12	2,350cc	2,220kg	-	8	普通		
11	周南 12 資機材搬送車	日産	山口800す4885	H29.2	2,950cc	3,905kg	950kg	3	準中型		
12	周南 13 救急指導車	日産	山口501も5245	H28.12	1,590cc	1,735kg	-	7	普通		
13	プリウス 連絡車	トヨタ	山口300み198	H22.4	1,790cc	1,585kg	-	5	普通		本庁総務課
14	総務運搬 運搬車	ダイハツ	山口480て4803	R3.12	650cc	1380kg(1390kg)	350kg(250kg)	2(4)	普通		リース車・軽自動車
15	周南救急 9 高規格救急車	トヨタ	山口800す2595	H25.2	2,690cc	3,235kg	-	7	普通		

【中央消防署】

No	車両名等	シャシメーカー	登録番号	初年度登録	排気量	総重量	最大積載量	定員	自動車区分	ポンプ級別	備考
1	周南 20 タンク車	日野	山口800は754	H17.2	6,400cc	8,470kg	1,500kg	6	中型	A-2	水槽：1.5㎡
2	周南 21 ポンプ車	日野	山口800す7945	R5.2	4,000cc	6,995kg	850kg	5	準中型	A-2	水槽：0.85㎡
3	周南 22 救助工作車	日野	山口800は224	H13.2	7,960cc	10,320kg	-	6	中型		
4	周南 23 水槽車	いすゞ	山口800は906	H18.3	7,790cc	12,495kg	-	3	大型	B-2	水槽：5.0㎡
5	周南 24 はしご車	日野	山口800は1658	H25.11	8,860cc	19,560kg	-	6	大型		30m級
6	周南 25 大型化学高所放水車	日野	山口800は1998	H30.1	8,860cc	16,705kg	1,890kg	3	大型	A-1	薬液槽：1.8㎡
7	周南 26 化学車	日野	山口800は2228	R3.2	5,120cc	11,150kg	1,850kg	6	大型	A-2	薬液槽：0.5㎡ 水槽：1.3㎡
8	周南 27 原液搬送車	日野	山口800は647	H16.2	7,960cc	11,125kg	4,090kg	3	大型		薬液槽：4.0㎡
9	周南 28 資機材搬送車	日産	山口800す4316	H28.3	1,790cc	2,730kg	1,000kg	2	普通		
10	周南 31 指令・指揮車	トヨタ	山口800さ9881	H20.2	2,690cc	2,805kg	-	5	普通		
11	周南救急 1 高規格救急車	トヨタ	山口800す5362	H30.2	2,690cc	3,225kg	-	7	普通		
12	周南救急 2 高規格救急車	トヨタ	山口800す7028	R3.2	2,690cc	3,195kg	-	7	普通		

【東消防署】

No	車 両 名 等	シャシ メーカー	登 録 番 号	初年度登録	排気量	総重量	最 大 積 載 量	定員	自動車 区分	ポンプ 級 別	備 考	
1	周南 40	タンク車	三菱ふそう	山口800は360	H14.2	8,200cc	8,390kg	1,500kg	6	中型	A-2	水槽：1.5m ³
2	周南 41	ポンプ車	日 野	山口800す2600	H25.2	4,000cc	5,245kg	-	5	準中型	A-1	
3	周南 42	救助工作車	日 野	山口800は1784	H27.2	6,400cc	11,225kg	-	5	大型		
4	周南 43	水槽車	日 野	山口800は1502	H24.2	6,400cc	12,050kg	5,000kg	2	大型	B-2	水槽：5.0m ³
5	周南 44	屈折はしご車	日 野	山口800は1333	H22.3	7,680cc	11,590kg	-	6	大型		
6	周南 45	化学車	三菱ふそう	山口800は233	H13.3	17,737cc	14,560kg	-	6	大型	A-1	薬液槽：1.2m ³ 水槽：1.5m ³
7	周南 46	小型動力ポンプ付積載車	日 産	山口88た8051	H9.3	1,990cc	2,540kg	-	6	普通	B-2	可搬ポンプ
8	周南 47	指令・指揮車	トヨタ	山口800す4767	H28.12	1,980cc	2,130kg	-	8	普通		
9	周南救急11	高規格救急車	トヨタ	山口800す7922	R5.2	2,690cc	3,195kg	-	7	普通		
10	周南救急 5	高規格救急車	日 産	山口800す6444	R2.2	2,480cc	3,315kg	-	7	普通		
11	東積載車	資機材搬送車	日 産	山口88た7363	H8.8	2,490cc	2,665kg	1,000kg	3	普通		

【西消防署】

No	車 両 名 等	シャシ メーカー	登 録 番 号	初年度登録	排気量	総重量	最 大 積 載 量	定員	自動車 区分	ポンプ 級 別	備 考	
1	周南 50	タンク車	日 野	山口88た3617	H4.11	7,410cc	7,455kg	-	7	準中型	A-1	水槽：1.5m ³
2	周南 51	ポンプ車	日 野	山口800さ7254	H17.1	4,000cc	4,975kg	-	5	準中型	A-2	
3	周南 53	タンク車	日 野	山口800は1043	H19.3	6,400cc	8,040kg	-	6	中型	A-2	水槽：1.5m ³
4	周南 54	救助工作車	日 野	山口800は1923	H28.12	6,400cc	11,155kg	-	5	大型		
5	周南 55	化学車	日 野	山口88つ1971	H11.3	13,260cc	14,110kg	2,040kg	6	大型	A-1	薬液槽：2.0m ³
6	周南 56	屈折はしご車	日 野	山口800は2373	R5.9	8,860cc	16,880kg	-	6	大型		
7	周南 57	指令・指揮車	日 産	山口88た4388	H5.10	4,160cc	2640kg(2605kg)	350kg(150kg)	2(5)	普通		
8	周南 58	査察・広報車	ダイハツ	山口880あ1480	H29.12	650cc	1460kg(1470kg)	350kg(250kg)	2(4)	普通		軽自動車
9	周南 59	資機材搬送車	いすゞ	山口880は2148	R2.2	5,190cc	10,365kg	2,250kg	3	中型		
10	周南救急 6	高規格救急車	トヨタ	山口800す8344	R6.1	2,690cc	3,265kg	-	7	普通		
11	周南救急 7	高規格救急車	トヨタ	山口800す7511	R4.2	2,690cc	3,195kg	-	7	普通		
12	周南 15	支援車	日 野	山口800は1399	H22.11	12,910cc	19750kg(16180kg)	4450kg(-)	10(26)	大型		

【西部出張所】

No	車 両 名 等	シャシ メーカー	登 録 番 号	初年度登録	排気量	総重量	最 大 積 載 量	定員	自動車 区分	ポンプ 級 別	備 考	
1	周南 60	ポンプ車	日 野	山口800す3726	H27.2	4,000cc	6,945kg	800kg	5	準中型	A-2	CAFS搭載 水槽：800m ³
2	周南 61	化学車	日 野	山口800は1417	H23.2	6,400cc	11,840kg	2,730kg	6	大型	A-2	薬液槽：1.2m ³ 水 槽：1.5m ³
3	周南 62	資機材搬送車	トヨタ	山口800す8397	R6.3	2,750cc	3,645kg	1,400kg	3	準中型		
4	周南救急 8	高規格救急車	日 産	山口800す5919	H31.1	2,480cc	3,275kg	-	7	普通		

【北消防署】

No	車 両 名 等		シヤン メーカー	登 録 番 号	初年度登録	排気量	総重量	最 大 積載量	定員	自動車 区分	ポンプ 級 別	備 考
1	周南 70	ポンプ車	三菱ふそう	山口88た8869	H9.12	4,560cc	5,285kg	-	5	準中型	A-2	
2	周南 71	タンク車	日 野	山口800は1153	H20.2	6,400cc	9,160kg	1,500kg	6	中型	A-2	水槽：1.5m ³
3	周南 72	指令・指揮車	日 産	山口800す2990	H25.11	1,990cc	1,825kg	-	5	普通		
4	周南 74	資機材搬送車	ダイハツ	山口80あ2559	H13.8	650cc	1,210kg	350kg	2	普通		軽自動車
5	周南 75	水槽車	三菱ふそう	山口800は1246	H21.3	7,540cc	11,760kg	5,000kg	2	大型	B-2	水槽：5.0m ³
6	周南救急 3	高規格救急車	日 産	山口800す4319	H28.3	3,490cc	3,355kg	-	7	普通		

【北部出張所】

No	車 両 名 等		メーカー	登 録 番 号	初年度登録	排気量	総重量	最 大 積載量	定員	自動車 区分	ポンプ 級 別	備 考
1	周南 80	タンク車	日 野	山口800は1327	H22.2	6,400cc	9,040kg	1,500kg	6	中型	A-2	水槽：1.5m ³
2	周南 81	ポンプ車	日 野	山口800す4259	H28.2	4,000cc	5,885kg	-	5	準中型	A-2	
3	周南 82	査察・広報車	日 産	山口880あ1274	H27.10	650cc	1410kg(1420kg)	350kg(250kg)	2(4)	普通		軽自動車
4	周南救急10	高規格救急車	日 産	山口800す4867	H29.2	3,490cc	3,355kg	-	7	普通		

(3) 小型動力ポンプ

No	配 置	積載車両	メーカー	型 式	級 別	購入年月日
1	消防本部		ラビット	P265M	D-1	2015/10/16
2	中央消防署	周南20	ラビット	P382M	C-1	2005/2/21
3	中央消防署	周南21	シバウラ	C505	C-1	2023/3/3
4	中央消防署	周南23	ラビット	P382	C-1	2006/3/10
5	東消防署	周南41	ラビット	P383	C-1	2013/2/26
6	東消防署	周南43	ラビット	P382	C-1	2012/2/22
7	東消防署	周南46	ラビット	P535	B-2	1997/3/1
8	西消防署	周南51	ラビット	P382M	C-1	2005/1/21
9	西部出張所	周南60	トーハツ	V20E	C-1	2015/2/25
10	北消防署	周南70	ラビット	P382	C-1	2009/3/2
11	北消防署	周南75	ラビット	P303B	C-1	1979/3/1
12	北部出張所	周南81	ラビット	P383	C-1	2016/2/5

(4) 周南市常備消防力の推移

区 分 \ 年	R2	R3	R4	R5	R6
合 計	66	65	65	65	64
消防ポンプ車	7	7	6	6	6
水槽付消防ポンプ車	7	6	6	6	6
はしご車	2	2	2	2	1
屈折はしご車	1	1	1	1	2
大型化学高所放水車	1	1	1	1	1
化学消防ポンプ車	4	4	4	4	4
泡原液搬送車	1	1	1	1	1
救助工作車	3	3	3	3	3
小型動力ポンプ付水槽車	3	3	3	3	3
支援車	1	1	1	1	1
高規格救急車	10	10	10	10	10
救急指導車	1	1	1	1	1
指令・指揮車	5	5	5	5	5
査察・広報車	6	6	6	6	6
連 絡 車	4	4	4	4	4
運 搬 車	3	3	3	3	2
資機材搬送車	6	6	6	6	6
人員搬送車	1	1	1	1	1
小型動力ポンプ付積載車	0	0	1	1	1
職 員 数	209	209	211	207	205
備 考					

(5) 救急・救助機械器具

【 救 助 資 機 材 】	数 量	【 救 急 資 機 材 】	数 量
大型油圧救助器具一式	6	患者監視装置	10
マット型空気ジャッキ一式	4	人工呼吸器	10
空気鋸	5	気道確保セット一式	10
チルホル	9	静脈路確保セット一式	10
救命索発射銃	1	除細動器（A E D）	17
高度救助用資機材一式	1	吸引器	10
チェーンソー	25	喉頭鏡	10
削岩機	8	ビデオ喉頭鏡	12
エンジンカッター	14	メインストレッチャー	11
マンホール救助器具	6	バックボード	20
送排風機	6	スクープストレッチャー	10
油圧救助器具	5	マジックギブス	10
ガス溶断器	3	パルスオキシメーター	10
都市型救助資機材一式	6	C O 2 モニター	10
バスケット担架	13	血糖値測定器	10
救命ボート	1	自動式心肺蘇生器	9
救命胴衣	81	心肺蘇生訓練人形	48
耐熱服	12	訓練用 A E D	28
耐電衣	20	気道管理トレーナー	2
放射線防護服	4	高度救命処置用シミュレーター人形	3
陽圧式化学防護服	10		
化学防護服	7		
放射線測定器	42		
可燃性ガス測定器	11		
携帯型毒性ガス警報機	2		
空気呼吸器	109		

(6) 現有ホース数 (署、所)

(単位：本)

種別 \ 所属	中央消防署	東消防署	西消防署	西部出張所	北消防署	北部出張所	合 計
75ミリ	22	6	46				74
65ミリ	224	136	159	40	100	80	739
50ミリ	190	121	253	46	123	100	833
40ミリ			47		3		50
計	436	263	505	86	226	180	1,696

(7) 消火薬剤備蓄量

(単位：リットル)

	たん白(3%)	フッ化たん白	合成界面 活性剤(3%)	水成膜(6%)	水溶性 液体用(6%)	合 計
消防本部	280		14,060		6,180	20,520
中央消防署			4,000		540	4,540
東消防署					940	940
西消防署	4,400	1,960	18,600		200	25,160
西部出張所			1,280		80	1,360
北消防署			360		40	400
北部出張所					40	40
合 計	4,680	1,960	38,300		8,020	52,960

指 令 関 係

1 消 防 通 信

2 気 象



1 消 防 通 信

(1) 通信機器位置図



No.	通 信 機 器 配 置	
1	消 防 本 部 署 中 央 消 防 署	周南市 新宿通5-1-3
2	東 消 防 署	〃 周陽2-8-20
3	西 消 防 署	〃 富田1-1-2
4	西 部 出 張 所	〃 大字戸田2748-2
5	北 消 防 署	〃 大字鹿野上2822-4
6	北 部 出 張 所	〃 大字須々万奥字市場724-11
7	大ヶ原中継所	〃 大字須々万本郷10849-1
8	千石岳中継所	〃 大字高瀬字又二郎ヶ浴11311-2
9	赤松ヶ平中継所	〃 大字原10134-63
10	米山トンネル 米山第2送受信所 第2・3通信所	〃 大字鹿野上字夏山10420-3

(2) 電話等

種 別 \ 所 属		消 防 本 部	中 央 消 防 署	東 消 防 署	西 消 防 署	西 部 出 張 所	北 消 防 署	北 部 出 張 所	合 計
		※	※	署	署	所	署	所	計
指令台		9							9
固定 1 1 9 通報受理回線		4							4
携帯 1 1 9 通報受理回線		2							2
携帯転送用 1 1 9 通報受理回線		1							1
I P 電話 (光電話含む)					1				1
指令(指令電話)専用回線			1	1	1	1	1	1	6
専用電話		7							7
防災無線		1							1
災害用携帯電話		6	1	1	1	1	1	1	12
救急車用 携帯電話	会話用	1	2	2	2	1	1	1	10
	伝送用								-
加入電話回線		16	2	1		1	1	1	22
加入電話回線 (指令台)		7							7
F A X		2	1	1	1	1	1	1	8
合 計		56	7	6	6	5	5	5	90

※消防本部と中央消防署は同一庁舎

(3) 無線局配備状況等

ア 無線局数

種別 配備署所等	基地局	固定局	陸上移動局					
			卓上型 固定移動	車載型	携 帯 型			
					デジタル	署活動	防災相互	簡易無線
消防本部(※)	1	1		12	7	4		
中央消防署(※)				13	3	10		
東 消 防 署		1	1	10	3	10		
西 消 防 署	1	1		12	3	9		
西部出張所			1	4	3	4		
北 消 防 署		1	1	7	3	7		
北部出張所			1	4	3	5		
消 防 団					27			371
大ヶ原中継所	1	1						
千石岳中継所	1	1						
赤松ヶ平中継所	1	1						
中国道米山トンネル	1							
合 計	6	7	4	62	52	49	0	371

※ 消防本部と中央消防署は同一庁舎

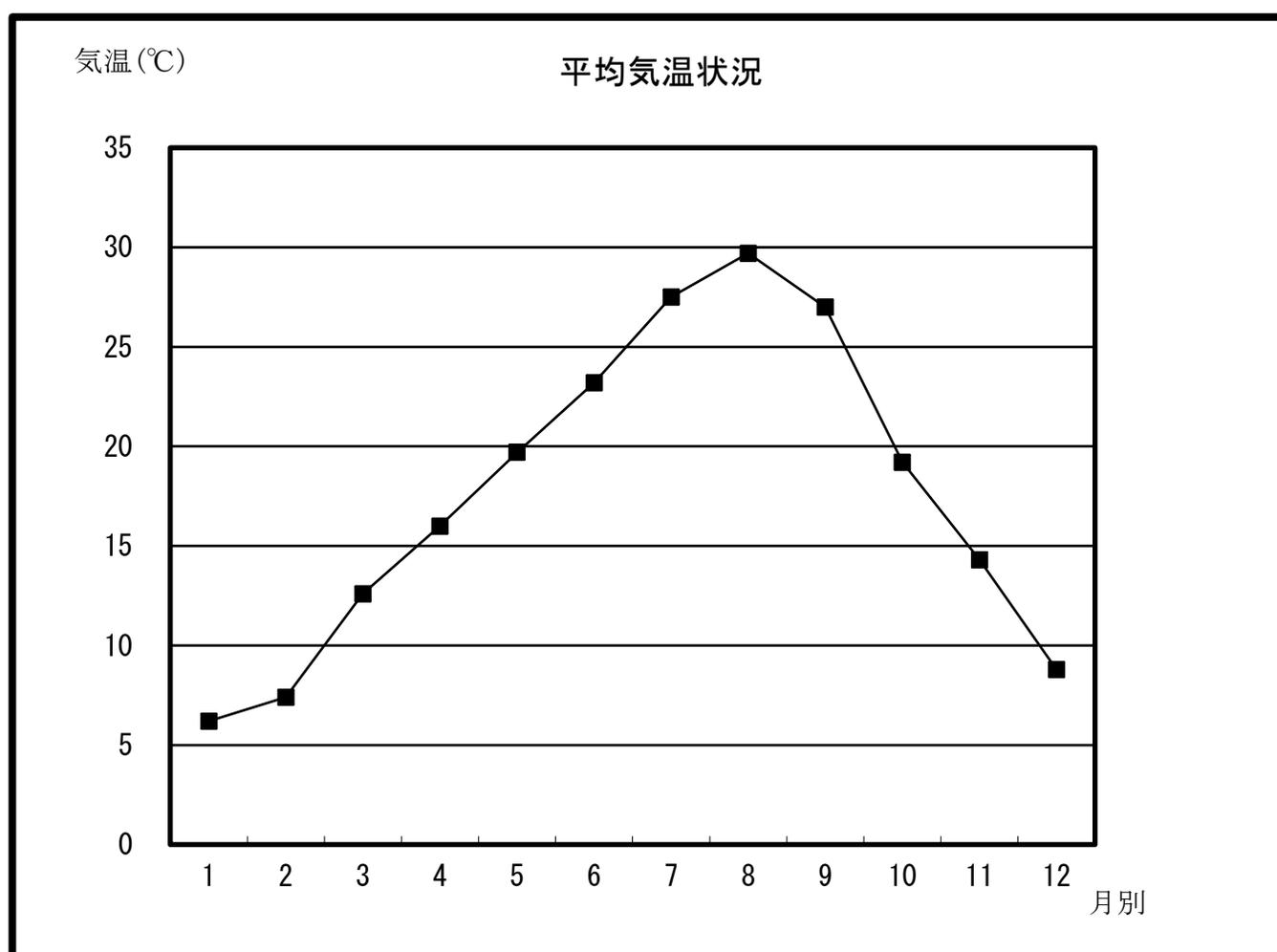
イ 電波の種類

区 分	分 類	運用数
デジタル波	活動波(消防波及び救急波)	3波
	主運用波(県内共通波に相当)	1波
	統制波(全国共通波に相当)	3波
	活動波(簡易無線局専用波)	30波
アナログ波	署 活 動 波	2波
	防 災 相 互 波	1波

2 気 象

(1) 月別気温状況 (令和5年中)

月 区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	備 考
平均気温	6.2	7.4	12.6	16.0	19.7	23.2	27.5	29.7	27.0	19.2	14.3	8.8	平 均 17.6
最高気温	16.7	15.7	23.3	25.2	28.8	30.3	34.8	38.4	35.1	29.0	27.2	20.3	最高日8月6日 38.4
最低気温	-4.8	-0.4	0.7	5.6	9.2	15.6	21.1	24.6	18.4	11.3	3.1	-1.1	最低日1月25日 -4.8



(2) 月別気象状況 (令和5年中)

区分		月												合 計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
天気 日数	晴	18	18	24	20	18	10	16	20	16	26	20	19	225
	曇	10	6	4	7	8	15	10	7	12	4	7	10	100
	雨	1	4	3	3	5	5	5	4	2	1	3	1	37
	雪	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
雨量 mm	日最大	86.0	13.0	22.0	84.5	115.5	178.5	119.0	26.0	23.5	3.0	12.5	48.0	最大 178.5
	月積算	121.5	49.0	76.0	294.5	296.0	382.0	432.5	75.0	62.5	6.0	34.0	61.0	1890.0

(3) 湿度・風速 (令和5年中)

区 分	
平均相対湿度 %	71.3
平均実効湿度 %	71.3
最低相対湿度 %	17.7 (4月8日)
平均風速 m/s	1.2
最大風速 m/s	22.4 (4月8日)

予 防 関 係

1 一 般 予 防

2 建 築 築



1 一 般 予 防

(1) 防火対象物数 (消防法第17条対象)

政令別表項		用 途	対象物数
(1) 項	イ	劇場、映画館、演芸場等	7
	ロ	公会堂、集会場	71
(2) 項	イ	キャバレー、ナイトクラブ等	0
	ロ	遊技場、ダンスホール	9
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	0
	ニ	カラオケボックス等	3
(3) 項	イ	料理店等	0
	ロ	飲食店	184
(4) 項		百貨店、店舗、マーケット等	168
(5) 項	イ	旅館、ホテル等	65
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	1,550
(6) 項	イ	(1) 避難のために患者の介助が必要な病院	5
		(2) 避難のために患者の介助が必要な有床診療所	1
		(3) 病院（(1)を除く）、有床診療所（(2)を除く）、有床助産所等	13
		(4) 無床診療所、無床助産所	60
	ロ	(1) 老人短期入所施設、養護老人ホーム等	41
		(2) 救護施設	1
		(3) 乳児院	0
		(4) 障害児入所施設	0
		(5) 障害者支援施設等	6
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター、老人福祉センター等	30
		(2) 更生施設	0
		(3) 助産施設、保育所等	33
		(4) 児童発達支援センター等	8
		(5) 身体障害者福祉センター、地域活動センター等	22
	ニ	幼稚園、特別支援学校	22
(7) 項		学校等	174
(8) 項		図書館、美術館等	9
(9) 項	イ	蒸気浴場、熱気浴場等	0
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	2
(10) 項		車両の停車場等	0
(11) 項		神社、寺院、教会等	94
(12) 項	イ	工場、作業場	434
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ	0
(13) 項	イ	自動車車庫、駐車場	62
	ロ	飛行機の格納庫等	0
(14) 項		倉庫	442
(15) 項		前各項に該当しない事業所	621
(16) 項	イ	複合用途防火対象物で特定用途部分を有するもの	425
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	309
(16の2) 項		地下街	0
(16の3) 項		準地下街	0
(17) 項		重要文化財等	1
(18) 項		延長50メートル以上のアーケード	4
(19) 項		市町村の指定する山林	0
(20) 項		総務省令で定める舟車	0
計			4,876

(2) 消防用設備等設置状況 (令和6年3月31日現在)

消防用設備等区分	設置数	消防用設備等区分	設置数
屋内消火栓設備	498	ガス漏れ火災警報設備	8
スプリンクラー設備	112	漏電火災警報器	68
水噴霧消火設備	0	非常警報設備	550
泡消火設備	21	避難器具	459
不活性ガス消火設備	12	誘導灯	1,670
ハロゲン化物消火設備	15	消防用水	16
粉末消火設備	81	排煙設備	10
屋外消火栓設備	96	連結散水設備	2
動力消防ポンプ設備	19	連結送水管	201
自動火災報知設備	1,899	非常コンセント設備	58

(3) 消防用設備等検査件数 (令和5年度中)

消防用設備等区分	検査件数	消防用設備等区分	検査件数
屋内消火栓設備	10	ガス漏れ火災警報設備	1
スプリンクラー設備	17	漏電火災警報器	0
水噴霧消火設備	0	非常警報設備	30
泡消火設備	2	避難器具	19
不活性ガス消火設備	2	誘導灯	125
ハロゲン化物消火設備	2	消防用水	0
粉末消火設備	9	排煙設備	0
屋外消火栓設備	11	連結散水設備	0
動力消防ポンプ設備	0	連結送水管	9
自動火災報知設備	210	非常コンセント設備	3

(4) 立入検査・違反処理状況 (令和5年度中)

立入検査	改善指導	警告	命令
710	244	0	0

(5) 住宅防火診断件数 (令和5年度中)

訪問診断	自己診断	計
102	134	236

(6) 火災予防広報等実施状況 (令和5年度中)

火災予防広報	訓練指導	防火講習
612	182	182

(7) 消防クラブ等設置状況

クラブ名	設立年月日	クラブ名	設立年月日
南陽幼稚園幼年消防クラブ	昭和58年5月1日	戸田女性防火クラブ	昭和63年3月6日
富田幼稚園幼年消防クラブ	昭和58年5月1日	須々万女性防火クラブ	平成7年3月30日
桜田幼稚園幼年消防クラブ	昭和58年7月14日	大向小学校少年消防クラブ	休校
和光保育園幼年消防クラブ	昭和61年11月1日	中須小学校少年消防クラブ	休校
湯野小学校少年消防クラブ	昭和56年11月30日	計11団体	
須磨小学校少年消防クラブ	昭和56年12月1日		
鼓南小学校少年消防クラブ	平成25年4月1日		
戸田小学校少年消防クラブ	平成29年9月29日		
沼城小学校少年消防クラブ	令和2年3月2日		
幼年 4 団体 209人 少年 5 団体 62人 女性 2 団体 51人 計 11 団体322人			

2 建 築

(1) 建築確認申請等消防同意件数 (令和5年度中)

区分	新築	増築	改築	移転	用途変更	設計変更	その他	確認通知	計
周南市	124	60			5		9	342	540

(2) 階層別中高層建物数

政令別表項		用途	階数														計
			5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16			
(1) 項	イ	劇場、映画館、演芸場等															
	ロ	公会堂、集会場															
(2) 項	イ	キャバレー、ナイトクラブ等															
	ロ	遊技場、ダンスホール															
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等															
	ニ	カラオケボックス等															
(3) 項	イ	料理店等															
	ロ	飲食店	3		1			1							5		
(4) 項		百貨店、店舗、マーケット等	2												2		
(5) 項	イ	旅館、ホテル等	3		1		4	1	1	1		3			14		
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	112	24	22	17	12	22	9	8	7	16	5		254		
(6) 項	イ	(1) 避難のために患者の介助が必要な病院	3		1										4		
		(2) 避難のために患者の介助が必要な有床診療所															
		(3) 病院(1)を除く、有床診療所(2)を除く、有床助産所等	2	2	1	1			1							7	
		(4) 無床診療所、無床助産所	2		1											3	
	ロ	(1) 老人短期入所施設、養護老人ホーム等	2													2	
		(2) 救護施設															
		(3) 乳児院															
		(4) 障害児入所施設															
		(5) 障害者支援施設等															
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター、老人福祉センター等	1													1	
		(2) 更生施設															
		(3) 助産施設、保育所等															
		(4) 児童発達支援センター等															
		(5) 身体障害者福祉センター、地域活動センター等															
	ニ	幼稚園、特別支援学校															
	(7) 項		学校等	6	2		1									9	
	(8) 項		図書館、美術館等														
(9) 項	イ	蒸気浴場、熱気浴場等															
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場															
(10) 項		車両の停車場等															
(11) 項		神社、寺院、教会等															
(12) 項	イ	工場、作業場	22	11	4	5	2	1			1	1			47		
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ															
(13) 項	イ	自動車車庫、駐車場															
	ロ	飛行機の格納庫等															
(14) 項		倉庫									1				1		
(15) 項		前各項に該当しない事業所	15	16	6	1	3		1						42		
(16) 項	イ	複合用途防火対象物で特定用途部分を有するもの	36	8	5	1	2	4	2						58		
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	14	11	6	3	1	2							37		
(16の2) 項		地下街															
(16の3) 項		準地下街															
(17) 項		重要文化財等															
(18) 項		延長50メートル以上のアーケード															
(19) 項		市町村の指定する山林															
(20) 項		総務省令で定める舟車															
計			223	74	48	29	24	31	14	11	8	19	5	0	486		

危 険 物 関 係

1 危 険 物

2 石油コンビナート



1 危険物

(1) 危険物製造所等設置状況 (完成検査済証交付施設 令和6年3月31日現在) 類別及び製造所等別

製造所等別 類別	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				計
		屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	給 油	販 売	移 送	一 般	
第 1 類	1	5										2	8
第 2 類		1	2					1				2	6
第 3 類		3	49	1			10					5	68
第 4 類	47	144	823	3	57	6	236	194	83		46	275	1,914
第 5 類		5											5
第 6 類			11									3	14
混 在	25	17					19			1	1	46	109
計	73	175	885	4	57	6	265	195	83	1	47	333	2,124

(2) 屋外タンク貯蔵所の容量別状況 (完成検査済証交付施設 令和6年3月31日現在)

タンク容量	その他のタンク	準特定タンク	特定タンク		計
	5百kl未満	5百kl以上 千kl未満	千kl以上 1万kl未満	1万kl以上	
基 数	617	68	152	48	885

(3) 危険物製造所等の立入検査状況 (令和5年度中)

製造所等別 審査区分	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				計
		屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	給 油	販 売	移 送	一 般	
検 査 施 設 数	46	73	495		1		211	154	5	1	13	183	1,182
延 べ 回 数	46	73	495		1		211	154	5	1	13	183	1,182

(4) 危険物保安技術協会審査委託状況 (令和5年度中)

審査区分		タンク容量		5百kl以上 千kl未満	千kl以上 5千kl未満	5千kl以上 1万kl未満	1万kl以上 5万kl未満	5万kl以上 10万kl未満	計	
		基礎	盤	完成検査前 検査申請		溶接部		定期保安検査		臨時保安検査
設置に係る書類審査										
変更に係る書類審査				3			3			6
完成検査前 検査申請	基礎	設置								
		変更								
	溶接部	設置								
		変更			3			1		
定期保安検査							4			4
臨時保安検査										
計				6			8			14

(5) 危険物仮貯蔵、仮取扱、仮使用承認状況 (令和5年度中)

区分	仮貯蔵	仮取扱	仮使用	計
件数	276	52	286	614

(6) 危険物製造所等諸届出状況 (令和5年度中)

区分	譲渡引渡	廃止	修理作業	種類数量 変更	名称等 変更	設備変更	その他	計
件数	6	34	61	116	29	290	2,399	2,935

(7) 危険物関係許可検査等に係る手数料納付状況 (令和5年度中) 単位：千円

区分	設置許可	変更許可	仮使用	完成検査前検査				完成検査	保安検査	仮貯蔵 仮取扱	計
				地基 盤礎	溶接部	水 張	水 圧				
金額	1,086	13,022	1,555		1,310	871	145	4,527	3,000	1,766	27,282

2 石油コンビナート

(1) 区域の名称 周南地区特別防災区域

(2) 政令指定年月日 昭和51年7月14日

(3) 特定事業所

令和6年3月31日現在

事業所名	区分	面積 (㎡)
日本精蠟(株)徳山工場	1種(レイアウト)	473,324
出光興産(株)徳山事業所大浦地区	1種(レイアウト)	1,065,239
出光興産(株)徳山事業所	1種(レイアウト)	1,068,662
日本ゼオン(株)徳山工場	1種(レイアウト)	243,743
(株)トクヤマ徳山製造所東工場 (徳山ポリプロ(株)) (サン・アロー化成(株)) (新第一塩ビ(株)) (タマ化学工業(株)徳山工場)	1種(レイアウト)	1,023,076
三井化学(株)岩国大竹工場徳山分工場	1種(レイアウト)	66,397
(株)トクヤマ徳山製造所徳山工場 (株)アストム)	1種(レイアウト)	790,723
東ソー(株)南陽事業所 (東ソー・エスジーエム(株)) (東ソー・シリカ(株)第一工場) (東ソー・ファインケム(株)第2工場) (東ソー物流(株)りんかい冷蔵倉庫) (南陽化成(株)) (保土谷化学工業(株)南陽工場分工場)	1種(レイアウト)	2,723,979
保土谷化学工業(株)南陽工場 (保土谷ロジスティックス(株)南陽営業所) (株)ジャスパー)	1種	273,826
周南酸素(株)	1種	31,286
(株)レゾナック徳山事業所	2種	100,400
日本化学工業(株)徳山工場	2種	99,179
日鉄ステンレス(株)製造本部山口製造所(周南エリア)	2種	992,248
東ソー・ファインケム(株)第1工場	2種	37,933
東ソー・ファインケム(株)第3工場	2種	31,787
徳山積水工業(株)	2種	57,849
(有)新南陽サンソ	2種	3,905
合計		9,083,556

(4) 法定事業所の防災資機材(現有数)等

令和6年3月31日現在

特定事業所別	防災資機材等別		大型化学消防車	大型高所放水車	泡原液搬送車	大型化学高所放水車	甲種普通化学消防車	乙種普通化学消防車	普通高所放水車	普通消防車	小型消防車	可搬式		耐熱服	空気又は酸素呼吸器	泡消火剤(ℓ)	オイルフェンスB型(m)	オイルフェンス船	油回収船	非常通報施設	屋外給水施設			流出油防止堤(m)	防災要員・当直人数	
	消火栓	貯水槽										海水取水ケ所														
日本精蠟(株)徳山工場							1	1					20	6	12	6,800	1,160	2				111	3	20	420	10
出光共同防災組織	出光興産(株)徳山事業所	1				1							2	2	2	92,010	1,080				1	180			3,330	11
	出光興産(株)徳山事業所大浦地区	1											1	1	1	56,800	1,080					62		8	3,420	5
	共同防災用	1		1	1								1	1	2	48,800	2,360	1	1							21
日本ゼオン(株)徳山工場						1						1	2	2	1	13,320	1,080	1		1		32	3			15
トクヤマ共同防災組織	(株)トクヤマ徳山製造所徳山工場(株)アストム)	1											2	2	4	10,540	1,080	1		1		47	5	11		16
	(株)トクヤマ徳山製造所東工場(徳山ポリプロ(株))(サン・アロー化成(株))(新第一塩ビ(株))(タマ化学工業(株)徳山工場)	1											2	1	4	23,000	540	1		1		172	2	4		20
	共同防災用					1									1	1	33,540	540	1							
三井化学(株)岩国大竹工場徳山分工場							1						8	1	11	8,760						20	2	2		4
日本化学工業(株)徳山工場													2	5	2							4	1			2

防災資機材等別 特定事業所別	大型化学消防車	大型高所放水車	泡原液搬送車	大型化学高所放水車	甲種普通化学消防車	乙種普通化学消防車	普通高所放水車	普通消防車	小型消防車	可搬式		耐熱服	空気又は酸素呼吸器	泡消火剤(ℓ)	オイルフェンスB型(m)	展開フェンス船	油回収船	非常通報施設	屋外給水施設			流出油防止堤(m)	防災要員・当直人数
										放水砲	放水銃								消火栓	貯水槽	海水取水ケ所		
東ソー(株)南陽事業所 (東ソー・エスジーエム(株)) (東ソー・シリカ(株)第一工場) (東ソー・ファインケム(株)第2工場) (東ソー物流(株)りんかい冷蔵倉庫) (南陽化成(株)) (保土谷化学工業(株)南陽工場分工場)	1	1		1						1	8	2	267	18,680	2,620	1		1	318	10	21		7
(株)レゾナック徳山事業所				1							10	10	9	10,160				1	18		12		3
保土谷化学工業(株) (保土谷ロジスティックス(株)) (株)ジャスパー				1							4	5	6	9,300					28	4	2		9
周南酸素(株)											4	1	2						19	2			3
日鉄ステンレス(株)製造本部山口製造所(周南エリア)					1						10	4	200	1,400	600			1	73	19			5
東ソー・ファインケム(株)第1工場											4	1	4								4		2
東ソー・ファインケム(株)第3工場											7		9	2,060					11	2			6
徳山積水工業(株)									1		1	3	2						7	1	1		4
(有)新南陽サンソ											3	1	2						3				3
合計	6	1	1	4	5	2			1	3	91	50	541	335,170	12,140	8	1	7	1,105	54	85	7,170	172

火 災 と 救 急

1 火 災 統 計

2 救 急 統 計



1 火災統計

(1) 年別火災発生状況

種別 年	火災件数							死傷者		焼損面積			損害額 (千円)						
	合計	建物	林野	車両	船舶・航空機	その他	焼損棟数	死亡	負傷	建物 (㎡)		林野 (アール)	合計	建物	林野	車両	船舶・航空機	その他	爆発
										床面積	表面積								
H26	51	30	4	7		10	45	4	10	1,014	38	3	110,872	97,949	3	10,538		2,348	34
27	34	16	4	6		8	19	2	5	719	55	9	63,184	61,513		1,655		16	
28	35	19		7		9	29	2	1	743	2		78,337	70,061		2,955		5,321	
29	49	29	3	5		12	40	6	4	1,135	88	12	41,570	40,561		997		12	
30	35	15	4	5		11	46	2	8	1,920	163	48	117,307	115,410		1,697		200	
31	38	17	4	1		16	29	2	7	1,677	36	311	79,624	70,959	1,893	163		6,609	
R2	50	20	4	5		21	24	3	10	1,446	50	789	152,369	109,861		1,986		23,475	17,047
3	31	15	1	2	1	12	18		5	229	7	3	59,808	33,251	7	880	3,000	22,670	
4	38	21		1	1	15	29	2	6	1,080	70		78,708	65,205		598	11,211	1,694	
5	46	30	1	2		13	43	4	6	1,102	88	86	86,653	53,733		1,420		2,282	29,218

参考：熊毛地区（光地区消防組合管内）

種別 年	火災件数							死傷者		焼損面積			損害額 (千円)						
	合計	建物	林野	車両	船舶・航空機	その他	焼損棟数	死亡	負傷	建物 (㎡)		林野 (アール)	合計	建物	林野	車両	船舶・航空機	その他	爆発
										床面積	表面積								
H26	7	2	1	2		2	2			324			24,759	23,430		1,328		1	
27	7	2	2			3	5			48	32	44	2,261	1,555	665			41	
28	10	3	1	3		3	7	1	1	923		5	30,486	29,568		918			
29	6	2	1	1		2	2			81		7	14,296	14,103		193			
30	4	1	1	1		1	2			24	6	1	1,030	900		130			
31	7	1	1			5	1	1				6	54	5				49	
R2	7	1	1			5	2	1		30		2	773	489	284				
3	14	1	1	2		10	1	2		184		30	10,830	10,759		69		2	
4	15	3	1	1		10	3			27		7	9,022	8,932		50		40	
5	8	5				3	9	1		333	9		9,586	9,586					

(2) 月別火災発生状況（令和5年中）

種別 月	火災件数						焼損棟数	死傷者		焼損面積			損害額（千円）						
	合計	建物	林野	車両	船舶・航空機	その他		死亡	負傷	建物（㎡）		林野（アール）	合計	建物	林野	車両	船舶・航空機	その他	爆発
										床面積	表面積								
1	4	3				1	3			12	1		160	160					
2	1	1				1				2			20	20					
3	4	2	1			1	2	1		46		51	10,138	10,138					
4	3	1		1		1	1			21			1,632	1,632					
5	4	4					4	1			2		35	35					
6	1	1					3	1		89	5		3,874	3,779				95	
7	4	4					6			18	14		2,822	2,573				249	
8	5	3				2	6			143	12		8,376	8,287				89	
9																			
10	10	6				4	8	2		157	42		4,849	3,765		1,062		22	
11	3	2				1	4	1	1	346	3	35	47,128	17,841				69	29,218
12	7	3		1		3	5	2	1	268	9		7,619	5,503		358		1,758	
計	46	30	1	2	0	13	43	4	6	1,102	88	86	86,653	53,733	0	1,420	0	2,282	29,218

参考：熊毛地区（光地区消防組合管内）

種別 月	火災件数						焼損棟数	死傷者		焼損面積			損害額（千円）						
	合計	建物	林野	車両	船舶・航空機	その他		死亡	負傷	建物（㎡）		林野（アール）	合計	建物	林野	車両	船舶・航空機	その他	爆発
										床面積	表面積								
1	0																		
2	0																		
3	1					1													
4	1	1					1				0								
5	1					1													
6	0																		
7	0																		
8	0																		
9	1	1					4			131	9		4,017	4,017					
10	2	1				1	1						10	10					
11	1	1					2	1		201			5,529	5,529					
12	1	1					1			1			30	30					
計	8	5	0	0	0	3	9	1	0	333	9	0	9,586	9,586	0	0	0	0	0

(3) 時間別火災発生状況 (令和5年中)

時間 \ 種別	合計	建物	林野	車両	航船 空機 船舶	その他
0 ~ 1	3	2				1
1 ~ 2	2	2				
2 ~ 3	2	1				1
3 ~ 4	1					1
4 ~ 5	1	1				
5 ~ 6	1	1				
6 ~ 7	1					1
7 ~ 8	1	1				
8 ~ 9	1	1				
9 ~ 10	2	1				1
10 ~ 11	2			1		1
11 ~ 12	2	1				1
12 ~ 13	3	2				1
13 ~ 14	4	3				1
14 ~ 15	5	4	1			
15 ~ 16	2	1				1
16 ~ 17						
17 ~ 18	4	2				2
18 ~ 19	3	3				
19 ~ 20	2	2				
20 ~ 21						
21 ~ 22	1	1				
22 ~ 23	1	1				
23 ~ 24						
不明	2			1		1

(4) 原因別・種別火災発生状況（令和5年中）

種別	原因別	たき火	たばこ	放火・放火の疑い	こんろ	発煙筒	火花	電気	火遊び	(火入れ 枯草焼き)	摩擦熱	焼却炉	排気管	ストーブ	その他	不明
建物		2	6	1	2			1						2	9	7
林野		1														
車両				1											1	
船舶 航空機																
その他		4		1											5	3
計		7	6	3	2			1						2	15	10

(5) 風速・湿度別火災発生状況（令和5年中）

湿度	風速	2 m未満	2 m以上 5 m未満	5 m以上 8 m未満	8 m以上 11 m未満	11 m以上 14 m未満	14 m以上	計
40%未満		3						3
40%以上 50%未満			3					3
50%以上 60%未満		9	2	1				12
60%以上 70%未満		10	4					14
70%以上 80%未満		7	1					8
80%以上		5						5
計		34	10	1				45

(6) 用途別建物火災発生状況 (令和5年中)

用途 \ 区分	件数	死者数	負傷者数
一般住宅	12	2	2
共同住宅	3		1
旅館・ホテル			
飲食店			
店舗	1		
工場	2	1	1
作業場	2		
倉庫	2		
事務所			
その他	8		2
計	30	3	6

(7) 出火件数の人口比 (令和5年中)

人口1万人当たりの出火件数	3.80
---------------	------

(8) 消防分団管轄区域別火災発生件数 (令和5年中)

方面隊	分団区域	件数	方面隊	分団区域	件数
第1方面隊 (熊毛地区)	八代	3	第4方面	東部・西部・北部	15
	高水・三丘	2		久米・櫛浜	6
	勝間・大河内	3		大島・給	1
第2方面	中須	2		加見・富岡	2
	須金	1		大津・馬島	1
	須々万	2		第5方面	富田・福川
	長穂・大道理	0	和田・和田南・夜市		2
第3方面	鹿野下・大向	0	戸田・湯野		3
	上野・下市	0	(その他)		3
	大潮・鹿野上	2			

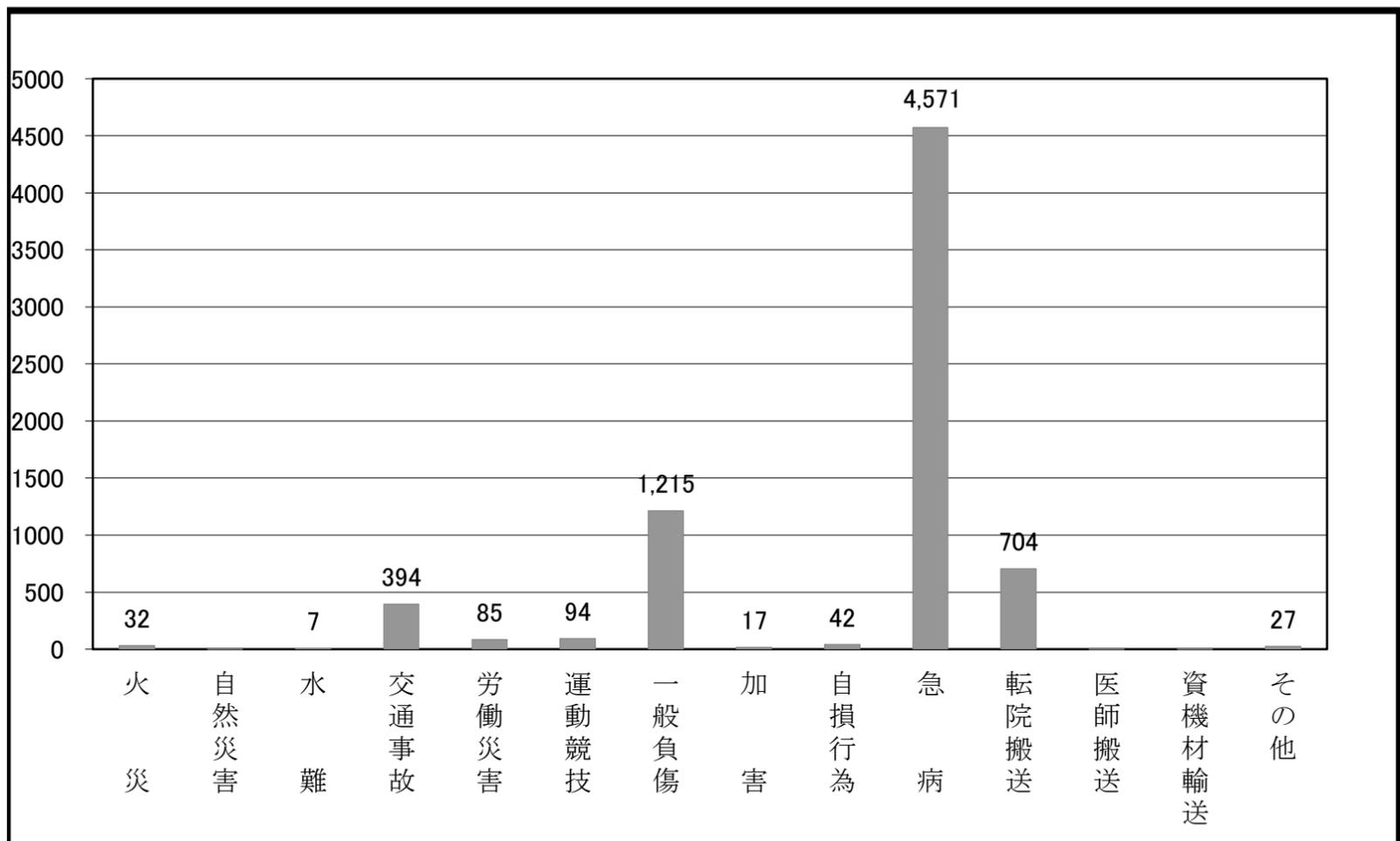
2 救急統計

(1) 救急発生状況（令和5年中）

事故種別	月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	管内 合計	熊毛 (参考)	周南市 合計
火	出場件数	2	1	2	1	3	1	3	4		6	4	5	32		32
	搬送人員					1					3	1	1	6		6
	不搬送	2	1	2	1	2	1	3	4		3	3	4	26		26
災 自然 災害	出場件数															
	搬送人員															
	不搬送															
水	出場件数	1		1				2	3					7		7
	搬送人員			1				1	1					3		3
	不搬送	1						1	2					4		4
難 交	出場件数	31	42	30	25	31	27	38	33	23	34	35	45	394	29	423
	搬送人員	23	35	20	20	27	19	32	28	23	29	30	36	322	22	344
	不搬送	9	9	10	5	5	8	7	7		6	5	12	83	7	90
通 労働 災害	出場件数	2	1	11	5	6	11	15	8	4	11	7	4	85	5	90
	搬送人員	2	1	10	5	6	9	15	7	4	10	7	4	80	5	85
	不搬送			1			2		1		2			6		6
運 動 競 技	出場件数	6	3	7	12	15	4	9	6	8	6	5	13	94	7	101
	搬送人員	4		4	4	6	2	6	5	6	4	1	7	49	7	56
	不搬送	2	3	3	8	9	2	3	1	2	1	4	6	44		44
一 般 負 傷	出場件数	114	68	98	91	83	90	108	107	104	127	116	109	1,215	151	1,366
	搬送人員	94	59	85	78	75	82	98	93	95	114	108	97	1,078	140	1,218
	不搬送	20	10	13	13	8	8	10	14	9	14	8	12	139	11	150
加 害 自 損 行 為	出場件数	1	6		2		1	2		1	1		3	17		17
	搬送人員		3		1		1	2					3	10		10
	不搬送	1	3		1					1	1			7		7
急 病 転 院	出場件数	3	4	4	1	4	8	6	3	2	1	2	4	42	5	47
	搬送人員	2	2	3	1	2	4	6	1	1	1	2	4	29	3	32
	不搬送	1	2	1		2	4		2	1				13	2	15
送 急 病 院	出場件数	446	334	371	347	364	311	447	467	366	371	321	426	4,571	584	5,155
	搬送人員	352	286	317	306	319	273	396	418	328	334	281	365	3,975	509	4,484
	不搬送	94	47	54	41	46	38	51	50	38	37	40	61	597	76	673
そ の 他	出場件数	53	45	63	47	62	58	62	84	59	68	57	46	704	19	723
	搬送人員	53	45	62	47	62	58	62	84	59	68	57	46	703	19	722
	不搬送			1										1		1
合 計	出場件数	2	2	3	2	5	1	3	1	3	1	1	3	27	8	35
	搬送人員															
	不搬送	2	2	3	2	5	1	3	1	3	1	1	3	27	8	35
計	出場件数	661	506	590	533	573	512	695	716	570	626	548	658	7,188	808	7,996
	搬送人員	530	431	502	462	498	448	618	637	516	563	487	563	6,255	705	6,960
	不搬送	132	77	88	71	77	64	78	82	54	65	61	98	947	104	1,051

(2) 事故種別救急出場件数 (令和5年中)

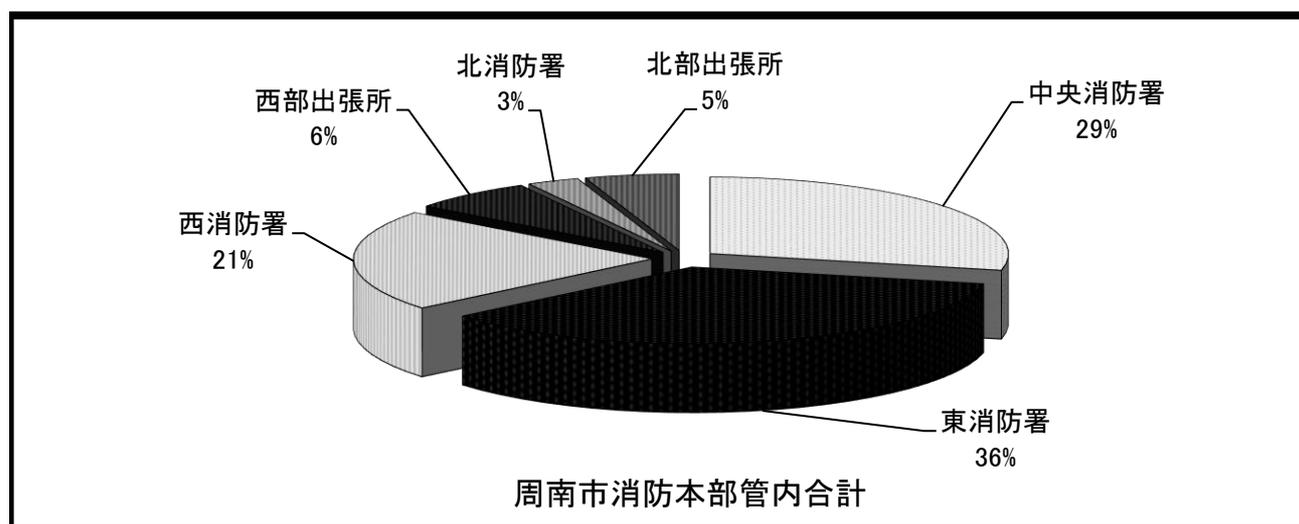
種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	管内 合計	熊毛 (参考)	周南市 合計
火災	2	1	2	1	3	1	3	4		6	4	5	32		32
自然災害															
水難	1		1				2	3					7		7
交通事故	31	42	30	25	31	27	38	33	23	34	35	45	394	29	423
労働災害	2	1	11	5	6	11	15	8	4	11	7	4	85	5	90
運動競技	6	3	7	12	15	4	9	6	8	6	5	13	94	7	101
一般負傷	114	68	98	91	83	90	108	107	104	127	116	109	1,215	151	1,366
加害	1	6		2		1	2		1	1		3	17		17
自損行為	3	4	4	1	4	8	6	3	2	1	2	4	42	5	47
急病	446	334	371	347	364	311	447	467	366	371	321	426	4,571	584	5,155
転院搬送	53	45	63	47	62	58	62	84	59	68	57	46	704	19	723
医師搬送															
資機材輸送															
その他	2	2	3	2	5	1	3	1	3	1	1	3	27	8	35
計	661	506	590	533	573	512	695	716	570	626	548	658	7,188	808	7,996



周南市消防本部管内合計

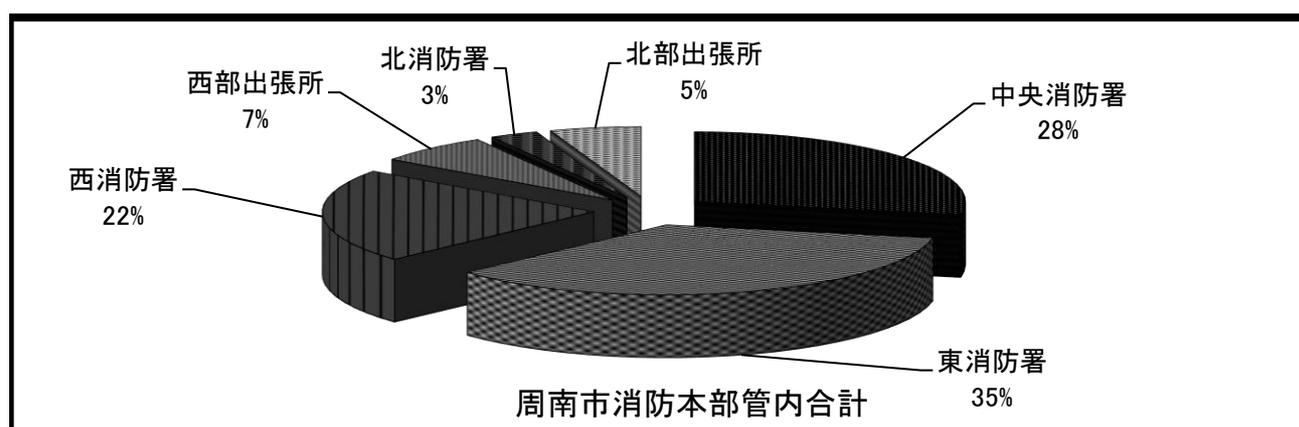
(3) 署所別救急出場件数 (令和5年中)

署所別 \ 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
中央消防署	187	171	169	132	156	157	207	174	150	181	163	202	2,049
東消防署	215	171	220	225	209	180	242	250	192	210	201	233	2,548
西消防署	147	95	133	101	123	100	145	179	136	144	109	128	1,540
西部出張所	43	30	32	33	38	41	62	45	42	35	38	42	481
北消防署	19	14	13	16	17	7	12	27	17	25	15	21	203
北部出張所	50	25	23	26	30	27	27	41	33	31	22	32	367
計	661	506	590	533	573	512	695	716	570	626	548	658	7,188



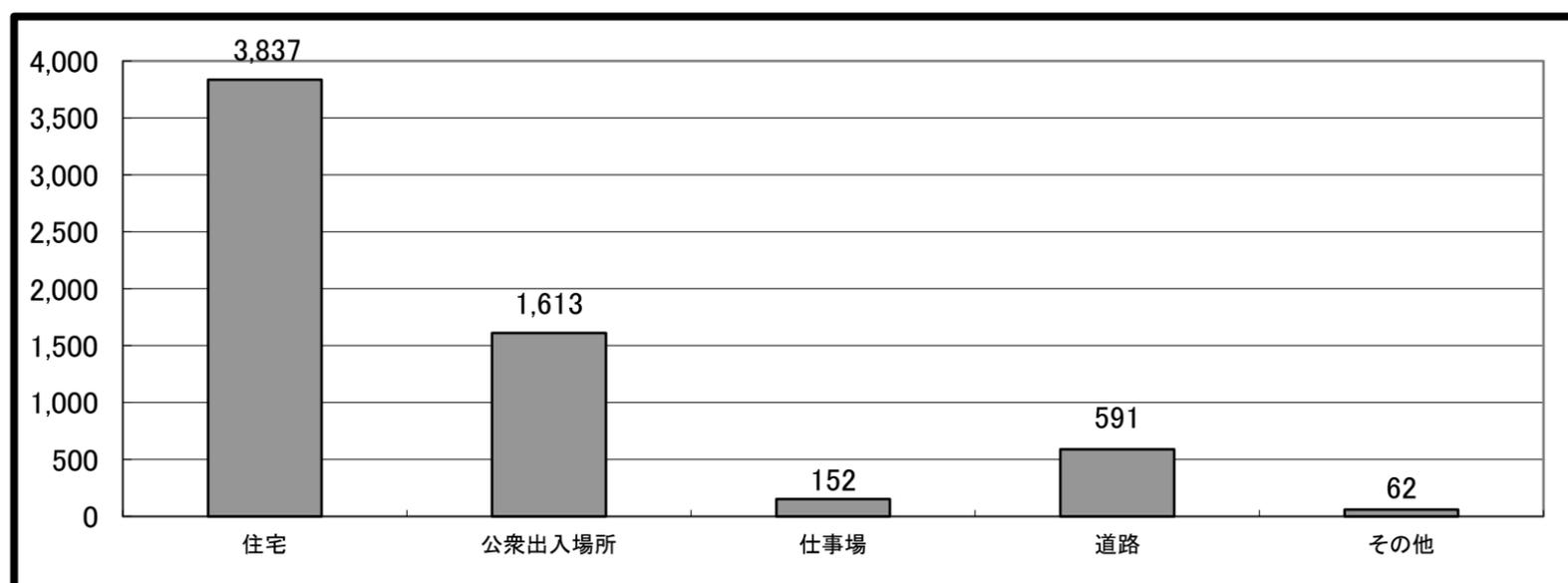
(4) 署所別救急搬送人員 (令和5年中)

署所別 \ 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
中央消防署	140	146	143	115	139	137	177	145	135	162	148	165	1,752
東消防署	172	136	184	192	175	153	219	222	178	189	175	199	2,194
西消防署	119	83	117	90	110	91	127	161	122	131	99	114	1,364
西部出張所	39	29	26	28	32	38	57	43	37	28	32	37	426
北消防署	17	13	11	13	14	6	12	27	14	21	14	18	180
北部出張所	43	24	21	24	28	23	26	39	30	32	19	30	339
計	530	431	502	462	498	448	618	637	516	563	487	563	6,255



(5) 発生場所別搬送人員 (令和5年中)

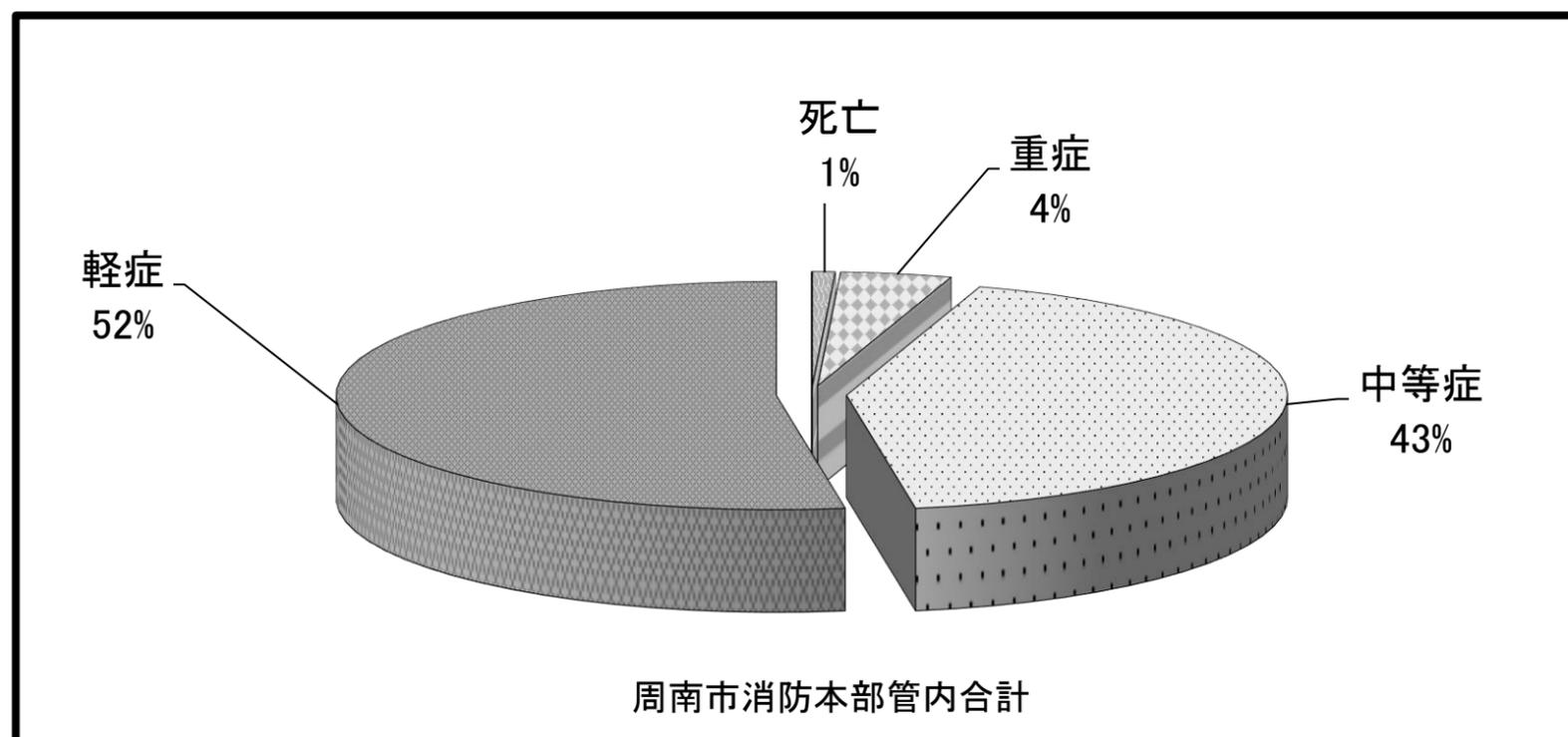
区分	月別												管内 合計	熊毛 (参考)	周南市 合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
住 宅	335	253	308	296	285	266	367	408	316	359	286	358	3,837	477	4,314
公衆出入場所	139	118	130	105	145	116	158	166	135	139	127	135	1,613	167	1,780
仕 事 場	9	9	18	16	12	17	22	6	13	10	14	6	152	5	157
道 路	44	47	43	39	52	43	64	52	48	50	56	53	591	42	633
そ の 他	3	4	3	6	4	6	7	5	4	5	4	11	62	14	76
計	530	431	502	462	498	448	618	637	516	563	487	563	6,255	705	6,960



周南市消防本部管内合計

(6) 傷病程度別搬送人員 (令和5年中)

区分	月別												管内 合計	熊毛 (参考)	周南市 合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
死 亡	6	5	4	2	6	6	5	3	3	6	1	5	52	14	66
重 症	19	24	23	18	18	18	21	16	22	32	27	17	255	25	280
中 等 症	229	195	223	215	216	182	245	272	213	266	184	224	2,664	315	2,979
軽 症	276	207	252	227	258	242	347	346	278	259	275	317	3,284	351	3,635
そ の 他															
計	530	431	502	462	498	448	618	637	516	563	487	563	6,255	705	6,960



周南市消防本部管内合計

(7) 過去5年間の救急出場の推移（管内合計）

区分 年 別	救 急 事 故 種 別												搬 送 人 員		
	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計	男	女	計
平成31年（令和元年）	19		5	467	68	98	947	18	47	3,968	656	6,293	2,805	2,784	5,589
令和2年	31		4	402	64	101	980	18	42	3,543	638	5,823	2,541	2,587	5,128
令和3年	21	1	2	444	55	101	963	24	43	3,649	668	5,971	2,649	2,629	5,278
令和4年	25		10	415	77	90	1,062	24	40	4,348	675	6,766	2,999	2,820	5,819
令和5年	32		7	394	85	94	1,215	17	42	4,571	731	7,188	3,119	3,136	6,255

過去5年間の救急出場の推移（熊毛合計）

区分 年 別	救 急 事 故 種 別												搬 送 人 員		
	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計	男	女	計
平成31年（令和元年）	1			50	9	5	121		3	609	25	823	363	333	696
令和2年	1			49	6	2	125	1	8	429	19	640	302	291	593
令和3年	2			42	1	9	120	2	1	497	31	705	293	351	644
令和4年				42	7	3	117	2	9	575	16	771	347	344	691
令和5年				29	5	7	151		5	584	27	808	357	348	705

(8) 火災外等出場件数（令和5年中）

種 別	月 別												管内 合計	熊毛 (参考)	周南市 合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
救 助	6	7	9	4	3	4	11	3	6	11	2	12	78	4	82
警 戒 ・ 警 備	2		6	3	3	4	7	6		7	6	7	51		51
警防調査・指導	1	4	3	4	7	7	8	11	8	6	5	9	73	18	91
誤 報 ・ 誤 認	6		1	1	2		2		2		2		16		16
非 火 災		1		1	2			1	2			1	8		8
ガス臭・異臭	1		2		1	1			2		1	1	9		9
危険物事故等					1	1	1	1			1		5		5
漏 油 処 理	3	1	1	1	1	1	4	1	1		1	2	17	1	18
特 定 救 急	10	14	10	11	12	12	9	10	9	13	6	9	125		125
支 援 救 急	107	102	107	91	103	83	108	108	87	96	97	116	1,205	8	1,213
そ の 他		1		1			2	1		2	1	3	11	232	243
風 水 害 災 害						2	3						5		5
管 轄 外 応 援															
計	136	130	139	117	135	115	155	142	117	135	122	160	1,603	263	1,866

消 防 団 関 係

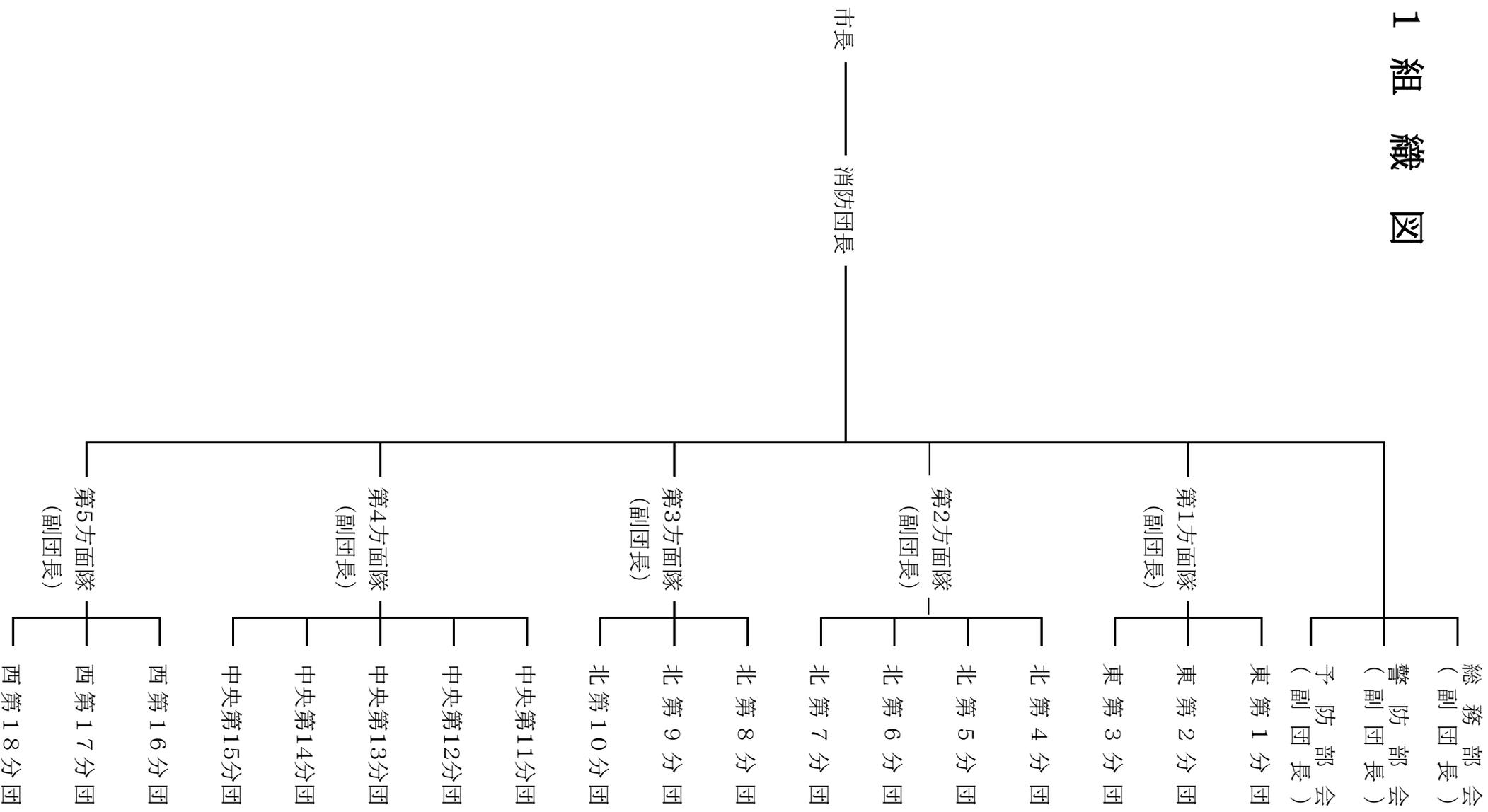
1 組 織 図

2 人 事

3 消 防 機 械



1 組織 図



2 人 事

(1) 歴代消防団長

	氏 名	期 間	備 考
初 代	小 山 修	就任 平成15年4月21日 退職 平成17年3月31日	
2 代	河 井 日出夫	就任 平成17年 4月 1日 退職 平成24年3月31日	
3 代	橋 本 賢 治	就任 平成24年 4月 1日 退職 平成25年3月31日	
4 代	畠 中 巧	就任 平成25年 4月 1日 退職 平成28年3月31日	
5 代	福 田 哲 行	就任 平成28年 4月 1日 退職 平成29年3月31日	
6 代	神 本 康 雅	就任 平成29年 4月 1日 退職 令和 6年 3月31日	
7 代	八 木 計 二	就任 令和 6年 4月 1日	

(2) 消防団員の報酬及び諸手当

階 級	区 分	報 酬 (年額)	災害 出動報酬 (1日)	災害以外 出動報酬 (1日)	その他 出動報酬 (1日)	庶務部長 手当 (月額)	機関技術員 手当 (月額)
団 長		82,500	8,000	4,000	2,000	1,800	3,000
副 団 長		69,000	〃	〃	〃		
分 団 長		50,500	〃	〃	〃		
副分団長		45,500	〃	〃	〃		
部 長		37,000	〃	〃	〃		
班 長		37,000	〃	〃	〃		
団 員		36,500	〃	〃	〃		

(3) 消防団員在職年数調

階 級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
在職年数								
1 年 未 満							29	29
1 ～ 5 年 未 満						2	87	89
5 ～ 1 0 年 未 満						15	155	170
1 0 ～ 1 5 年 未 満		1		1	7	25	102	136
1 5 ～ 2 0 年 未 満			2	4	16	40	75	137
2 0 ～ 2 5 年 未 満			4	7	19	31	50	111
2 5 ～ 3 0 年 未 満		3	1	11	20	15	36	86
3 0 ～ 3 5 年 未 満		2	4	5	17	10	25	63
3 5 ～ 4 0 年 未 満		2	6	6	3	1	7	25
4 0 年 以 上	1		1	3	2		6	13
人 数	1	8	18	37	84	139	572	859
平 均	42.0	29.3	30.1	27.9	24.6	18.3	12.5	15.8

(4) 消防団員年齢調

階 級 年 齢	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	計
20歳未満								0
20～25歳未満							10	10
25～30歳未満							26	26
30～35歳未満						1	44	45
35～40歳未満						6	74	80
40～45歳未満				1	2	14	80	97
45～50歳未満				2	11	31	99	143
50～55歳未満				6	17	38	101	162
55～60歳未満			5	11	30	35	50	131
60歳以上	1	8	13	17	24	14	88	165
人 数	1	8	18	37	84	139	572	859
平 均	65.0	65.0	62.4	58.7	56.0	51.5	46.8	49.5

(5) 消防団員の退職報償金

(単位：円)

階 級 勤続年数	団 長	副団長	分団長	副分団長	部長・班長	団 員
5～10年未満	239,000	229,000	219,000	214,000	204,000	200,000
10～15年未満	344,000	329,000	318,000	303,000	283,000	264,000
15～20年未満	459,000	429,000	413,000	388,000	358,000	334,000
20～25年未満	594,000	534,000	513,000	478,000	438,000	409,000
25～30年未満	779,000	709,000	659,000	624,000	564,000	519,000
30年以上	979,000	909,000	849,000	809,000	734,000	689,000

(6) 定員及び実員数

団別/階級		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計	摘要
団本部	定数	1	3			3	1	20	28	-9
	実数	1	3			3	1	11	19	
第1方面隊	定数		1	3	5	14	18	195	236	-62
	実数		1	3	5	14	18	133	174	
東第1分団	定数			1	1	3	3	49	57	-10
	実数			1	1	3	3	39	47	
第1支部(八代)	定数				1	3	3	49	56	-10
	実数				1	3	3	39	46	
東第2分団	定数			1	2	6	10	76	95	-24
	実数			1	2	6	10	52	71	
第1支部(高水)	定数				1	3	4	36	44	-18
	実数				1	3	4	18	26	
第2支部(三丘)	定数				1	3	6	40	50	-6
	実数				1	3	6	34	44	
東第3分団	定数			1	2	5	5	70	83	-28
	実数			1	2	5	5	42	55	
第1支部(勝間)	定数				1	3	3	38	45	-14
	実数				1	3	3	24	31	
第2支部(大河内)	定数				1	2	2	32	37	-14
	実数				1	2	2	18	23	
第2方面隊	定数		1	4	7	17	29	140	198	-43
	実数		1	4	7	15	28	100	155	
北第4分団	定数			1	2	4	6	30	43	-8
	実数			1	2	4	6	22	35	
第1支部(中須)	定数				2	4	6	30	42	-8
	実数				2	4	6	22	34	
北第5分団	定数			1	2	5	8	37	53	-17
	実数			1	2	4	7	22	36	
第1支部(須金)	定数				2	5	8	37	52	-17
	実数				2	4	7	22	35	
北第6分団	定数			1	1	4	8	40	54	-11
	実数			1	1	3	8	30	43	
第1支部(須々万)	定数				1	4	8	40	53	-11
	実数				1	3	8	30	42	
北第7分団	定数			1	2	4	7	33	47	-7
	実数			1	2	4	7	26	40	
第1支部(長穂)	定数				1	2	4	18	25	-3
	実数				1	2	4	15	22	
第2支部(大道理)	定数				1	2	3	15	21	-4
	実数				1	2	3	11	17	

団別/階級		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計	摘要
第3方面隊	定数		1	4	8	17	33	104	167	-70
	実数		1	3	8	12	23	50	97	
北第8分団	定数			2	4	9	13	46	74	-28
	実数			1	4	6	12	23	46	
第1支部(鹿野下)	定数				3	7	10	32	52	-18
	実数				3	4	10	17	34	
第2支部(大向)	定数				1	2	3	14	20	-9
	実数				1	2	2	6	11	
北第9分団	定数			1	2	4	10	24	41	-16
	実数			1	2	4	5	13	25	
第1支部(上野)	定数				1	2	5	12	20	-8
	実数				1	2	3	6	12	
第2支部(下市)	定数				1	2	5	12	20	-8
	実数				1	2	2	7	12	
北第10分団	定数			1	2	4	10	34	51	-26
	実数			1	2	2	6	14	25	
第1支部(大潮)	定数				1	2	5	17	25	-13
	実数				1	1	3	7	12	
第2支部(鹿野上)	定数				1	2	5	17	25	-13
	実数				1	1	3	7	12	
第4方面隊	定数		1	5	10	21	37	192	266	-68
	実数		1	5	10	21	34	127	198	
中央第11分団	定数			1	3	6	9	46	65	-23
	実数			1	3	6	8	24	42	
第1支部(東部)	定数				1	2	3	15	21	-8
	実数				1	2	2	8	13	
第2支部(西部)	定数				1	2	3	16	22	-9
	実数				1	2	3	7	13	
第3支部(北部)	定数				1	2	3	15	21	-6
	実数				1	2	3	9	15	
中央第12分団	定数			1	2	4	8	42	57	1
	実数			1	2	4	8	43	58	
第1支部(久米)	定数				1	2	4	21	28	3
	実数				1	2	4	24	31	
第2支部(櫛浜)	定数				1	2	4	21	28	-2
	実数				1	2	4	19	26	
中央第13分団	定数			1	2	4	6	28	41	0
	実数			1	2	4	6	28	41	
第1支部(大島)	定数				1	2	3	14	20	0
	実数				1	2	3	14	20	
第2支部(給)	定数				1	2	3	14	20	0
	実数				1	2	3	14	20	

団別/階級		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計	摘要
中央第14分団	定数			1	2	4	8	41	56	-17
	実数			1	2	4	8	24	39	
第1支部(加見)	定数				1	2	4	18	25	-1
	実数				1	2	4	17	24	
第2支部(富岡)	定数				1	2	4	23	30	-16
	実数				1	2	4	7	14	
中央第15分団	定数			1	1	3	6	35	46	-29
	実数			1	1	3	4	8	17	
第1支部(大津島)	定数				1	3	6	35	45	-29
	実数				1	3	4	8	16	
第5方面隊	定数		1	3	7	19	37	222	289	-73
	実数		1	3	7	19	35	151	216	
西第16分団	定数			1	2	8	16	93	120	-27
	実数			1	2	8	15	67	93	
第1支部(富田)	定数				1	5	10	57	73	-20
	実数				1	5	10	37	53	
第2支部(福川)	定数				1	3	6	36	46	-7
	実数				1	3	5	30	39	
西第17分団	定数			1	3	7	13	87	111	-35
	実数			1	3	7	12	53	76	
第1支部(和田南)	定数				1	2	4	35	42	-16
	実数				1	2	4	19	26	
第2支部(和田)	定数				1	3	5	29	38	-12
	実数				1	3	4	18	26	
第3支部(夜市)	定数				1	2	4	23	30	-7
	実数				1	2	4	16	23	
西第18分団	定数			1	2	4	8	42	57	-11
	実数			1	2	4	8	31	46	
第1支部(戸田)	定数				1	2	4	21	28	-5
	実数				1	2	4	16	23	
第2支部(湯野)	定数				1	2	4	21	28	-6
	実数				1	2	4	15	22	
計	定数	1	8	19	37	91	155	873	1,184	-325
	実数	1	8	18	37	84	139	572	859	

3 消防機械

(1) 分団別機械器具等配備表

種別 分団名	機 庫	消防車	積載車	小型ポンプ	消防ホース 乾 燥 塔	消防ホース
合 計	68	2	72	94	51	2,527
東第1分団	5		3	5	5	111
東第2分団	6		6	9	6	213
東第3分団	5		5	5	5	167
北第4分団	3		2	4	1	144
北第5分団	2	1	2	3	2	87
北第6分団	1		2	3		83
北第7分団	2		2	4	2	76
北第8分団	6		6	7	1	163
北第9分団	1		3	3	1	75
北第10分団	4		4	4	1	130
中央第11分団	3		3	3	2	137
中央第12分団	2		4	5	2	148
中央第13分団	2		2	4	2	95
中央第14分団	4		6	7	3	158
中央第15分団	7		3	7	4	165
西第16分団	8		8	8	8	223
西第17分団	5		6	6	5	234
西第18分団	2		5	7	1	118
団 本 部		1				

(2) 車 両 一 覧

No	方面	分団名	支部名	機庫名	種別	メーカー	登録番号	初年度登録	総重量	最大積載量	定員	自動車区分	ポンプ	級別	備考		
1	第1方面隊 東	第1分団	第1支部	上須野河内	積載車	ダイハツ	山口800あ1757	R3.1	1,500kg	-	4	普通			軽自動車		
2				高代	積載車	日産	山口800す933	H22.2	3,610kg	-	10	準中型					
3				上市	積載車	トヨタ	山口800す7937	R5.2	3,620kg	-	6	準中型					
4		第2分団	第1支部	高水	積載車	日産	山口800す469	H21.3	2,900kg	-	10	普通					
5					積載車	いすゞ	山口800す6447	R2.2	3,820kg	-	6	準中型					
6					積載車	スズキ	山口880あ1108	H26.3	1,470kg	-	4	普通			軽自動車		
7			第2支部	安田	積載車	いすゞ	山口800す7519	R4.2	3,950kg	-	6	準中型					
8					積載車	トヨタ	山口800す8352	R6.2	3,670kg	400kg	6	準中型					
9					兼清	積載車	日産	山口800さ5112	H15.3	2,105kg	-	7	普通				
10		第3分団	第1支部	呼坂	積載車	日産	山口800す5938	H31.1	3,610kg	300kg	6	準中型					
11					勝間中	積載車	日産	山口88た7874	H9.2	2,440kg	-	10	普通				
12					遠見	積載車	日産	山口800さ8526	H18.3	2,740kg	-	10	普通				
13			第2支部	清光台	積載車	日産	山口800さ9262	H19.2	2,740kg	-	10	普通					
14					此原	積載車	日産	山口800す1573	H23.2	2,970kg	-	10	普通				
15	第2方面隊 北	第4分団	第1支部	中須	積載車	三菱	山口800さ3440	H13.9	2,900kg	-	10	普通					
16				阿田川	積載車	日産	山口800す4324	H28.3	3,685kg	300kg	9	準中型					
17		第5分団	第1支部	須金	消防車	日野	山口800す5359	H30.2	4,580kg	-	6	準中型	日機	A-2			
18					積載車	トヨタ	山口800さ8527	H18.3	2,970kg	-	10	普通					
19				中原	積載車	いすゞ	山口800す1081	H22.3	3,590kg	-	6	準中型					
20		第6分団	第1支部	須々万	積載車	日産	山口800さ6046	H15.12	3,060kg	-	10	普通					
21					積載車	いすゞ	山口800す7520	R4.2	3,950kg	-	6	準中型					
22		第7分団	第1支部	長穂	積載車	三菱	山口800さ3439	H13.9	2,900kg	-	10	普通					
23					第2支部	大道理	積載車	日産	山口88た7929	H9.2	2,510kg	-	10	普通			
24	第3方面隊 北	第8分団	第1支部	大泉	積載車	スズキ	山口800あ1929	R5.2	1,460kg	-	4	普通			軽自動車		
25				合の川	積載車	日産	山口800す466	H21.3	3,510kg	300kg	10	準中型					
26				今井	積載車	日産	山口88た6678	H8.2	2,365kg	-	7	普通					
27				金松	積載車	日産	山口800さ9261	H19.2	3,030kg	-	10	普通					
28				金峰	積載車	ダイハツ	山口880あ1671	R1.12	1,480kg	-	4	普通				軽自動車	
29		第2支部	大向	積載車	日産	山口800す2051	H24.2	3,655kg	250kg	9	準中型						
30		第9分団	第1支部	本町	積載車	日産	山口800す3758	H27.3	3,555kg	300kg	9	準中型					
31					第2支部	積載車	日産	山口800さ3632	H13.11	2,960kg	-	6	普通	全自動	B-2		
32						積載車	日産	山口800さ9870	H20.2	3,570kg	300kg	10	準中型				
33		第10分団	第1支部	大潮	積載車	トヨタ	山口800す3853	R6.2	3,670kg	400kg	6	準中型					
34					中津	積載車	ダイハツ	山口880あ1493	H30.1	1,450kg	-	4	普通			軽自動車	
35			第2支部	大地庵	積載車	日産	山口800さ7085	H16.11	3,070kg	-	10	普通					
36	渋川				積載車	いすゞ	山口800す7031	R3.2	3,870kg	-	6	準中型					

No	方面	分団名	支部名	機庫名	種別	メーカー	登録番号	初年度登録	総重量	最大積載量	定員	自動車区分	ポンプ	級別	備考			
37	第4方面隊 中央	第11分団	第1支部	東 部	積載車	日 産	山口800す471	H21.3	2,930kg	-	6	普通	全自動	B-2				
38			第2支部	西 部	積載車	日 産	山口800す2885	H25.9	3,070kg	-	6	普通	全自動	B-2				
39			第3支部	北 部	積載車	三 菱	山口800さ2770	H13.3	2,810kg	-	6	普通	全自動	B-3				
40		第12分団	第1支部	久 米	積載車	日 産	山口88た7928	H9.2	2,510kg	-	10	普通						
41					積載車	三 菱	山口800さ2108	H12.8	2,710kg	-	10	普通						
42			第2支部	櫛 浜	積載車	日 産	山口800す1572	H23.2	3,080kg	-	6	普通	全自動	B-2				
43					積載車	トヨタ	山口800す7938	R5.2	3,620kg	-	6	準中型						
44		第13分団	第1支部	大 島	積載車	三 菱	山口800さ2109	H12.8	2,710kg	-	10	普通						
45			第2支部	給	積載車	日 産	山口88は79	H10.10	2,590kg	-	10	普通						
46		第14分団	第1支部	加 見	積載車	日 産	山口800す4845	H29.1	3,570kg	300kg	6	準中型						
47					積載車	日 産	山口800さ9869	H20.2	3,570kg	300kg	10	準中型						
48					中 野	積載車	トヨタ	山口88た4591	H6.1	2,350kg	-	10	普通					
49			第2支部	富 岡	積載車	日 産	山口800さ789	H11.10	2,520kg	-	6	普通						
50					積載車	日 産	山口800す4325	H28.3	3,685kg	300kg	9	準中型						
51					四 熊	積載車	トヨタ	山口88た6754	H8.3	2,390kg	-	10	普通					
52			第15分団	第1支部	刈 尾	積載車	ダイハツ	山口880あ2038	R6.3	1,520kg	-	4	普通				軽自動車	
53		本 浦				積載車	日 産	山口800さ788	H11.10	2,515kg	-	9	普通					
54		馬 島				積載車	ダイハツ	山口880あ1586	H31.1	1,470kg	-	4	普通					軽自動車
55		第5方面隊 西	第16分団	第1支部	川 崎	積載車	日 産	山口800す4347	H28.3	2,990kg	-	6	普通	全自動	B-2			
56					三 笹	積載車	日 産	山口800す2543	H25.1	2,990kg	-	6	普通	全自動	B-2			
57					清 水	積載車	日 産	山口800す3753	H27.3	3,070kg	-	6	普通	全自動	B-2			
58					古 泉	積載車	日 産	山口800す6460	R2.2	3,130kg	-	6	普通	全自動	B-2			
59					宮の前	積載車	三 菱	山口800さ6325	H16.3	2,820kg	-	6	普通	全自動	B-3			
60				第2支部	福 川	積載車	日 産	山口800す2886	H25.9	3,070kg	-	6	普通	全自動	B-2			
61	御姫町				積載車	日 産	山口800す5361	H30.2	2,990kg	-	6	普通	全自動	B-2				
62	中 畷				積載車	日 産	山口800す2050	H24.2	3,150kg	-	6	普通	全自動	B-2				
63	第17分団			第1支部	馬 神	積載車	日 産	山口800す2540	H25.1	3,565kg	300kg	9	準中型					
64						米 光	積載車	ダイハツ	山口880あ2033	R6.2	1,510kg	100kg	4	普通			B-2	軽自動車
65			第2支部	和 田	積載車	日 産	山口800さ9260	H19.2	3,030kg	-	10	普通						
66				高 瀬	積載車	ダイハツ	山口880あ1844	R3.12	1,510kg	-	4	普通				軽自動車		
67			第3支部	夜 市	積載車	日 産	山口88た8494	H9.8	2,510kg	-	10	普通						
68					積載車	日 産	山口800す922	H22.2	3,610kg	250kg	10	準中型						
69			第18分団	第1支部	戸 田	積載車	日 産	山口800さ7103	H16.11	2,760kg	-	10	普通					
70						積載車	ダイハツ	山口880あ1587	H31.1	1,480kg	-	4	普通					軽自動車
71	積載車					トヨタ	山口88た3597	H4.10	2,580kg	-	10	普通						
72	第2支部			湯 野	積載車	三 菱	山口800さ4656	H14.10	2,750kg	-	10	普通						
73		積載車			いすゞ	山口800す7032	R3.2	3,870kg	-	6	準中型							
74			団 本 部		消防車	日 野	山口800す4825	H29.1	4,260kg	-	6	準中型	モリタ	A-2				

(3) 小型動力ポンプ

No	方面	分 団 名	支部名	機庫名	メーカー	型 式	級 別	購入年月日	
1	東	東 第1分団	第1支部	上須野河内	シバウラ	FF500	B-2	2021/1/21	
2				高 代	トーハツ	VC62BS	B-3	2004/9/2	
3				上 市	シバウラ	FF500	B-2	2023/2/14	
4				上魚切	トーハツ	V30A	B-3	1991/12/10	
5				新 畑	トーハツ	P408R	B-3	1991/12/10	
6		東 第2分団	第1支部	高水	ラビット	Fi7000	B-3	2009/3/4	
7					トーハツ	VC72AS	B-2	2020/2/6	
8					ラビット	Fi8000	B-2	2014/3/27	
9				小成川	ラビット	V38BS	B-3	1993/12/22	
10				新 町	トーハツ	V30A	B-3	1991/12/10	
11			上大歳	トーハツ	P407R	B-3	1983/12/1		
12			第2支部	安 田	トーハツ	VC72A(S)	B-2	2022/2/14	
13		トーハツ			VC72BS	B-2	2024/2/22		
14		東 第3分団	第1支部	呼 坂	兼 清	トーハツ	V46B	B-3	1993/1/27
15					呼 坂	シバウラ	FF500	B-2	2019/1/30
16					勝間中	ラビット	P408R	B-3	1993/1/27
17			第2支部	遠 見	ラビット	P476B	B-3	2005/9/13	
18					清光台	トーハツ	VC62BS	B-3	2007/2/9
19		此 原	ラビット	Fi7000	B-3	2011/2/25			
20	北	北 第4分団	第1支部	中 須	ラビット	P455	B-3	2001/6/21	
21					ラビット	P303B	C-1	1980/7/5	
22				阿田川	トーハツ	VC72A(S)	B-2	2016/3/11	
23				大田原	ラビット	P408R(S)	B-3	1991/7/19	
24		北 第5分団	第1支部	須 金	ラビット	P476B	B-3	2005/9/13	
25					中 原	シバウラ	SF756AZ	B-2	2010/3/31
26		ラビット	P380	C-1		1992/7/23			
27		北 第6分団	第1支部	須々万	トーハツ	VC62AS	B-3	2003/12/18	
28					トーハツ	VC72A(S)	B-2	2022/2/14	
29					トーハツ	V20B	C-1	1986/12/12	
30		北 第7分団	第1支部	長 穂	ラビット	P455	B-3	2001/6/21	
31					トーハツ	V20B	C-1	1984/7/2	
32			第2支部	大道理	ラビット	P408R	B-3	1993/10/13	
33					トーハツ	V38AS	B-3	1979/6/25	
34	北	北 第8分団	第1支部	大 泉	シバウラ	FF500	B-2	2023/2/8	
35				合の川	ラビット	Fi7000	B-3	2009/3/4	
36				今 井	ラビット	P455E	B-3	2002/9/19	
37				金 峰	トーハツ	VC72A (S)	B-2	2020/1/14	
38				金 松	トーハツ	VC62BS	B-3	2007/2/9	
39		第2支部	大 向	トーハツ	VC62BS	B-3	2012/2/20		
40				トーハツ	V20B	C-1	1984/7/2		
41		北 第9分団	第1支部	本 町	ラビット	Fi7000	B-3	2015/3/5	
42					ラビット	P555E	B-2	2001/11/26	
43			第2支部		トーハツ	VC62BS	B-3	2008/2/25	
44	北 第10分団	第1支部	大 潮	トーハツ	VC72BS	B-2	2024/2/2		
45				中 津	トーハツ	VC72AS	B-2	2018/2/1	
46		第2支部	大地庵	トーハツ	VC52A	B-3	2001/7/27		
47				渋 川	シバウラ	FF500	B-2	2021/2/19	

No	方面	分 団 名	支部名	機庫名	メーカー	型 式	級 別	購入年月日	
48	第4方面隊 中央	中央第11分団	第1支部	東 部	トーハツ	VF63AS	B-2	2009/3/4	
49			第2支部	西 部	トーハツ	VF63AS-Ti	B-2	2013/10/2	
50			第3支部	北 部	ラビット	P476E	B-3	2001/3/13	
51		中央第12分団	第1支部	久 米	トーハツ	V66AS	B-2	1997/3/4	
52					トーハツ	VC52AS	B-3	2000/6/22	
53					ラビット	P303B	C-1	1983/8/27	
54			第2支部	櫛 浜	ラビット	P450	B-3	1981/9/25	
55					シバウラ	FF500	B-2	2023/2/14	
56		中央第13分団	第1支部	大 島	トーハツ	VC52AS	B-3	2000/6/22	
57					ラビット	P303B	C-1	1986/2/4	
58			第2支部	給	トーハツ	V38C(S)	B-3	1998/11/20	
59					トーハツ	V15A	C-1	1980/7/12	
60		中央第14分団	第1支部	加 見	シバウラ	FF500	B-2	2017/1/27	
61					トーハツ	VC62BS	B-3	2008/2/25	
62					中 野	ラビット	P408R	B-3	1991/7/19
63			第2支部	富 岡	ラビット	P455S	B-3	1999/7/22	
64					トーハツ	VC72A(S)	B-2	2016/3/11	
65					四 熊	トーハツ	V46B	B-3	1996/3/19
66						トーハツ	V20B	C-1	1996/3/19
67		中央第15分団	第1支部	本 浦	ラビット	P407R	B-3	1987/11/13	
68				近 江	ラビット	P455	B-3	1997/7/16	
69				刈 尾	トーハツ	VF63BS	B-2	2024/3/28	
70				瀬戸浜	ラビット	P303B(S)	C-1	1987/11/13	
71	柳ヶ浦			ラビット	P407R	B-3	1992/10/21		
72	馬 島			シバウラ	FF500	B-2	2019/1/31		
73	天ヶ浦			ラビット	P380	C-1	1992/7/23		
74	第5方面隊 西	西 第16分団	第1支部	川 崎	トーハツ	VF63AS-Ti	B-2	2016/3/18	
75				三 笹	ラビット	P572E	B-2	2013/1/16	
76				清 水	トーハツ	VF63AS-Ti	B-2	2015/3/5	
77				古 泉	トーハツ	VF63AS-Ti	B-2	2020/2/14	
78				宮の前	ラビット	P476E	B-3	2004/3/10	
79		第2支部	福 川	トーハツ	VF63AS-Ti	B-2	2013/10/2		
80				御姫町	トーハツ	VF63AS-Ti	B-2	2018/2/8	
81				中 畷	トーハツ	VC72AM	B-2	2012/2/20	
82		西 第17分団	第1支部	馬 神	ラビット	Fi7000	B-3	2013/1/16	
83					米 光	トーハツ	VC72BS	B-2	2024/2/29
84			第2支部	和 田	トーハツ	VC62B(S)	B-3	2007/2/9	
85					高 瀬	トーハツ	VC72A(S)	B-2	2021/12/15
86			第3支部	夜 市	トーハツ	V46B	B-3	1998/7/21	
87		トーハツ			VC62B(S)	B-3	2010/2/26		
88		西 第18分団			第1支部	戸 田	シバウラ	FF500	B-2
89	トーハツ		VC62AS	B-3			2004/9/2		
90	ラビット		P303B	C-1			1981/10/14		
91	トーハツ		V46A	B-3			1992/7/21		
92	第2支部		湯 野	ラビット	P476A	B-3	2002/10/21		
93		シバウラ		FF500	B-2	2021/2/19			
94		ラビット		P303B	C-1	1986/2/14			

(4) 周南市非常備消防力の推移

区分 \ 年	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
車 両 合 計 数	75	75	75	75	74
消 防 ポ ン プ 車	2	2	2	2	2
小型動力ポンプ積載車	73	73	73	73	72
小 型 動 力 ポ ン プ	97	96	96	96	94
分 団 数	18	18	18	18	18
団 員 数	1,003	978	956	883	859
備 考					



周南市消防本部

〒745-0056 山口県周南市新宿通5丁目1番3号

電話 0834-22-8755

FAX 0834-31-8533

メール sho-somu@city.shunan.lg.jp